

札幌医科大学要覧

平成30年度



北海道公立大学法人
札幌医科大学

札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代理事長等	4
(3)	組織機構図	5
(4)	役職員	6
(5)	名誉教授	11
(6)	名誉博士	11
(7)	正職員数	12
	ア 総括表	
	イ 医学部学科目（基礎医学部門）職員数	
	ウ 医学部学科目（臨床医学部門）職員数	
	エ 医学部講座（基礎医学部門）職員数	
	オ 医学部講座（臨床医学部門）職員数	
	カ 保健医療学部職員数	
	キ 医療人育成センター職員数	
	ク 助産学専攻科職員数	
	ケ 附属病院職員数	
	コ 事務局職員数	
(8)	主な研究題目	16
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
	ウ 医療人育成センター	
	エ 寄附講座	
	オ 特設講座	
(9)	文部科学省補助金活用事業（G P 関連）	33
(10)	国際交流	34
	ア 国際医学交流	
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	
	ウ 教員在外研究等	
	エ 国際医学交流センター	
(11)	標本館	36
	ア 歴代館長	
	イ 概況	
	ウ 利用状況	
2	学事事項	37
(1)	学生に関する事項	37
	ア 年度別志願者及び入学者数	
	イ 定員及び現員数	
	ウ 出身地別現員数	
(2)	年次別卒業者数	39
	ア 医学部	
	イ 保健医療学部	
(3)	国家試験合格状況	41
	ア 医師	
	イ 看護師	
	ウ 保健師	
	エ 理学療法士	
	オ 作業療法士	
	カ 助産師	
(4)	研究生数	43
(5)	修士及び博士（医学）の学位授与者数	44

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数	44
3 附属病院	45
(1) 沿革	45
(2) 歴代病院長	46
(3) 患者概況	47
ア 年間延患者数	
イ 1日平均患者数	
(4) 中央部門稼働実績概況	48
ア 放射線部使用状況	
イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数	
ウ 薬剤部調剤件数	
エ 手術部手術件数	
(5) 分娩件数	51
(6) 病床数	52
(7) 病理解剖件数	53
(8) 医療相談状況（平成29年度）	54
ア 各科別件数	
イ 相談内容別件数	
ウ がん看護相談件数	
(9) 病院経営概況	55
ア 病院診療収入稼働額	
イ 医療行為別診療収入稼働額	
(10) 栄養管理サポート概況	56
ア NST介入件数	
イ 栄養指導件数	
4 医学部附属フロンティア医学研究所	58
(1) 沿革	
(2) 歴代研究所長	
(3) 歴代研究所副所長	
(4) 組織	
5 医学部教育研究機器センター	59
(1) 沿革	
(2) 歴代施設部長及びセンター長	
(3) 組織	
6 医学部動物実験施設部	61
(1) 沿革	
(2) 歴代施設部長	
(3) 組織	
(4) 関連委員会・指針	
(5) 事業の概要（平成29年度）	
ア 施設利用者数	
イ 実験動物購入数及び飼育数	
ウ 実験動物検疫検査実績数	
7 附属総合情報センター	63
(1) 沿革	
(2) センター長	
(3) 組織	
(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況	
(情報システム部門)	
ア 教育支援システム	
イ 研究支援システム	
ウ 地域医療支援システム	
エ 図書館システム	

オ	学内情報ネットワークシステム(SAINS)	
	(図書館部門)	
ア	組織・施設概要	
イ	蔵書	
ウ	入館者数内訳(平成29年度)	
エ	利用概要(平成29年度)	
オ	地域医療支援(平成29年度文献複写受付)	
カ	特徴的な業務	
8	附属産学・地域連携センター	67
(1)	沿革	
(2)	歴代センター長	
(3)	組織	
(4)	業務概要	
ア	研究部門	
イ	開発部門	
(5)	文部科学省科学研究費助成事業	
(6)	受託研究受入れ状況	
(7)	特許出願等の状況	
9	寄附講座	70
(1)	生体工学・運動器治療開発講座	70
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(2)	アイン・ニトリ緩和医療学推進講座	71
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(3)	再生治療推進講座	72
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
(4)	北海道病院前・航空・災害医学講座	73
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
10	特設講座	74
(1)	がん疼痛緩和医療学講座	74
ア	沿革	
イ	担当教授及び代表教員	
ウ	組織	
エ	研究計画の概要	
11	決算・予算	75
(1)	平成29年度決算	75
(2)	平成30年度予算	76
12	校舎等建物面積	77

1 概 要

(1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校（昭和20年4月創立）を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部（昭和58年4月開学）の発展的な改組に伴い、保健医療学部を開設し平成19年4月の地方独立行政法人化を経て、現在に至っている。札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

昭和25年2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年4月1日	開学
昭和25年6月25日	開学式を挙行(大学記念日とする)
昭和25年8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年1月10日	医学進学課程設置
昭和33年4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年6月25日	開学10周年記念式挙行
昭和36年8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年4月1日	口腔外科学第二講座廃止
	生化学第二講座増設
昭和43年9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年11月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙行
昭和52年8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年9月30日	体育館竣工
昭和54年1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員(総員31人)
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年6月23日	附属病院等整備第1期工事(病棟・中央診療棟)竣工
昭和60年6月20日	附属病院等整備第2期工事(外来診療棟)竣工
昭和61年3月13日	附属病院等整備第2期工事(臨床教育研究棟)竣工
平成3年3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年4月1日	保健医療学部(入学定員90名)開設 (看護学科、理学療法学科、作業療法学科)
平成7年3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成8年4月1日	特定機能病院として承認
平成10年4月1日	大学院保健医療学研究科(入学定員24名)開設 (看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻)
平成10年4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年4月1日	附属情報センター設置

平成11年 4 月 1 日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年 6 月11日	新図書館開設
平成12年 4 月 1 日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期(入学定員 6 名)開設 学務部を廃止し、学生部を設置 医学部に副学部長制(2名)施行 臨床検査医学講座増設
平成12年 6 月25日	開学50周年(創基55周年)記念式典挙行
平成12年10月26日	交流会館開設
平成13年 4 月 1 日	大学院医学研究科を再編整備(地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ)
平成13年 4 月16日	地域医療支援センター設置
平成14年 4 月 1 日	患者の家族等のための宿泊施設(ファミリーハウス)開設、附属病院に救命救急センターを設置
平成14年10月 1 日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年12月 1 日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年 4 月 1 日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更 (財)大学基準協会による相互評価の結果、適合認定を受ける
平成16年 9 月17日	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価を受ける
平成18年 4 月 1 日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期(入学定員 2 名)開設
平成19年 4 月 1 日	地方独立行政法人化し「北海道公立大学法人 札幌医科大学」となる
平成19年10月 1 日	機器診断学廃止
平成20年 2 月13日	保健医療学研究科看護学専攻成人健康看護学がクリティカルケア看護分野の専門看護師教育課程の認定を受ける
平成20年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を105人に増員 大学院医学研究科修士課程(入学定員10名)を開設(医科学専攻) 医学部の副学部長を1名増員(3名体制) 生理学第一講座を細胞生理学講座に、生理学第二講座を神経科学講座に、生化学第一講座を医化学講座に、生化学第二講座を生化学講座に名称変更 神経内科学講座、救急・集中治療医学講座増設
平成20年10月 1 日	医療人育成センター(30名体制)設置(入学者選抜企画研究部門、教養教育研究部門、教育開発研究部門) 同センター設置に伴い、医学部の副学部長を1名減員(2名体制)
平成21年 4 月 1 日	医学部医学科学生の入学定員を110人に増員
平成22年 4 月 1 日	保健医療学部に副学部長制(2名)施行
平成22年 6 月25日	開学60周年(創基65周年)記念式典挙行
平成23年 4 月 1 日	医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置 医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更 医科知的財産管理学、病院経営・管理学、放射線診断学を増設 生化学講座を分子生物学講座に名称変更 (財)大学基準協会による認証評価の結果、適合認定を受ける
平成24年 3 月31日	医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止
平成24年 4 月 1 日	助産学専攻科設置 救急・集中治療医学講座を改組し、救急医学講座、集中治療医学を増設 遺伝医学増設 附属病院中央写真室を廃止し、教育研究機器センター画像・映像支援部門を設置
平成24年 9 月 1 日	外科学第二講座を改組し、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学を増設
平成25年 4 月 1 日	内科学第一講座を消化器・免疫・リウマチ内科学講座に、内科学第二講座を循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座に、内科学第三講座を呼吸器・アレルギー内科学講座に、内科学第四講座を腫瘍・血液内科学講座に、外科学第一講座を消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座に、医学部附属フロンティア医学研究所の分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更 事務局病院課栄養給食部門、患者サービスセンターを統合し、附属病院に医療連携・総合相談センターを設置
平成25年 8 月 1 日	医学部附属フロンティア医学研究所の遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更
平成26年 4 月 1 日	事務局学務課入試室を廃止し、アドミッションセンターを設置 附属病院看護キャリア支援センターを設置
平成26年 6 月 1 日	病院経営・管理学を病院管理学に名称変更
平成26年 9 月25日	新体育館・リハビリテーション実習施設・保育所竣工
平成26年10月 1 日	保健管理センター設置
平成26年12月 1 日	保健医療学部看護学科の再編に伴い、基礎臨床医学講座を廃止 臨床検査医学講座を感染制御・臨床検査医学講座に名称変更

平成27年 4 月 1 日	事務局病院課、医事センターを廃止 附属病院の事務部門を再編し、病院課、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置、病院経営・管理部を経営管理部に、医療安全推進部を医療安全部に名称変更
平成28年 4 月 1 日	消化器・免疫・リウマチ内科学講座を改組し、消化器内科学講座、免疫・リウマチ内科学を増設 腫瘍・血液内科学講座を改組し、腫瘍内科学講座、血液内科学を増設 医療人育成センター入学者選抜企画研究部門を廃止
平成29年 3 月 29 日	保健医療学研究棟増築部分竣工
平成29年 4 月 1 日	事務局管財課に施設移転室を設置 経営管理部経営管理課と医事相談センター（診療報酬部門）を統合し、医事経営管理部医事経営課を設置 医療連携センターと医事相談センター（相談部門）を統合し、医療連携福祉センターを設置 医科知的財産管理学を先端医療知財学に、臨床研修センターを臨床研修・医師キャリア支援センターに名称変更
平成29年10月 1 日	医療統計学を増設
平成29年12月25日	教育研究施設Ⅰ竣工
平成30年 3 月 23 日	附属病院増築棟（西病棟）竣工
平成30年 4 月 1 日	形成外科学を学科目から講座に改組 事務局学務課、附属病院病院課、附属産学・地域連携センターの研究支援に関する事務部門を統合し、事務局研究支援課を設置 附属病院医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年 8 月 1 日	附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更、附属病院遺伝子診療科を設置

(2) 歴代理事長等

◎理事長

平成19年4月1日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成28年3月31日
 平成28年4月1日 — 現 在

今 井 浩 三
 島 本 和 明
 塚 本 泰 司

◎学 長

昭和25年4月1日 — 昭和36年3月31日
 昭和36年4月1日 — 昭和40年3月31日
 昭和40年4月1日 — 昭和45年2月1日
 昭和45年2月1日 — 昭和47年2月8日
 昭和47年2月9日 — 昭和55年2月8日
 昭和55年2月9日 — 昭和61年2月8日
 昭和61年2月9日 — 平成4年2月8日
 平成4年2月9日 — 平成10年2月8日
 平成10年2月9日 — 平成16年2月8日
 平成16年2月9日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成28年3月31日
 平成28年4月1日 — 現 在

(学長職務代理)

大 野 精 七
 中 川 幸 諭
 新 保 太郎
 渡 邊 左 武
 渡 邊 左 武
 和 田 武 雄
 菊 地 浩 吉
 谷 内 昭
 秋 野 明
 今 井 三
 島 本 明
 塚 本 司

◎医学部長

平成5年4月1日 — 平成8年2月29日
 平成8年3月1日 — 平成12年2月29日
 平成12年3月1日 — 平成16年2月29日
 平成16年3月1日 — 平成18年2月28日
 平成18年3月1日 — 平成22年3月31日
 平成22年4月1日 — 平成26年3月31日
 平成26年4月1日 — 平成30年3月31日
 平成30年4月1日 — 現 在

秋 野 豊 明
 森 野 道 夫
 神 保 孝 一
 佐 藤 昇 志
 當 瀬 規 嗣
 黒 木 由 夫
 堀 尾 嘉 幸
 三 浦 哲 嗣

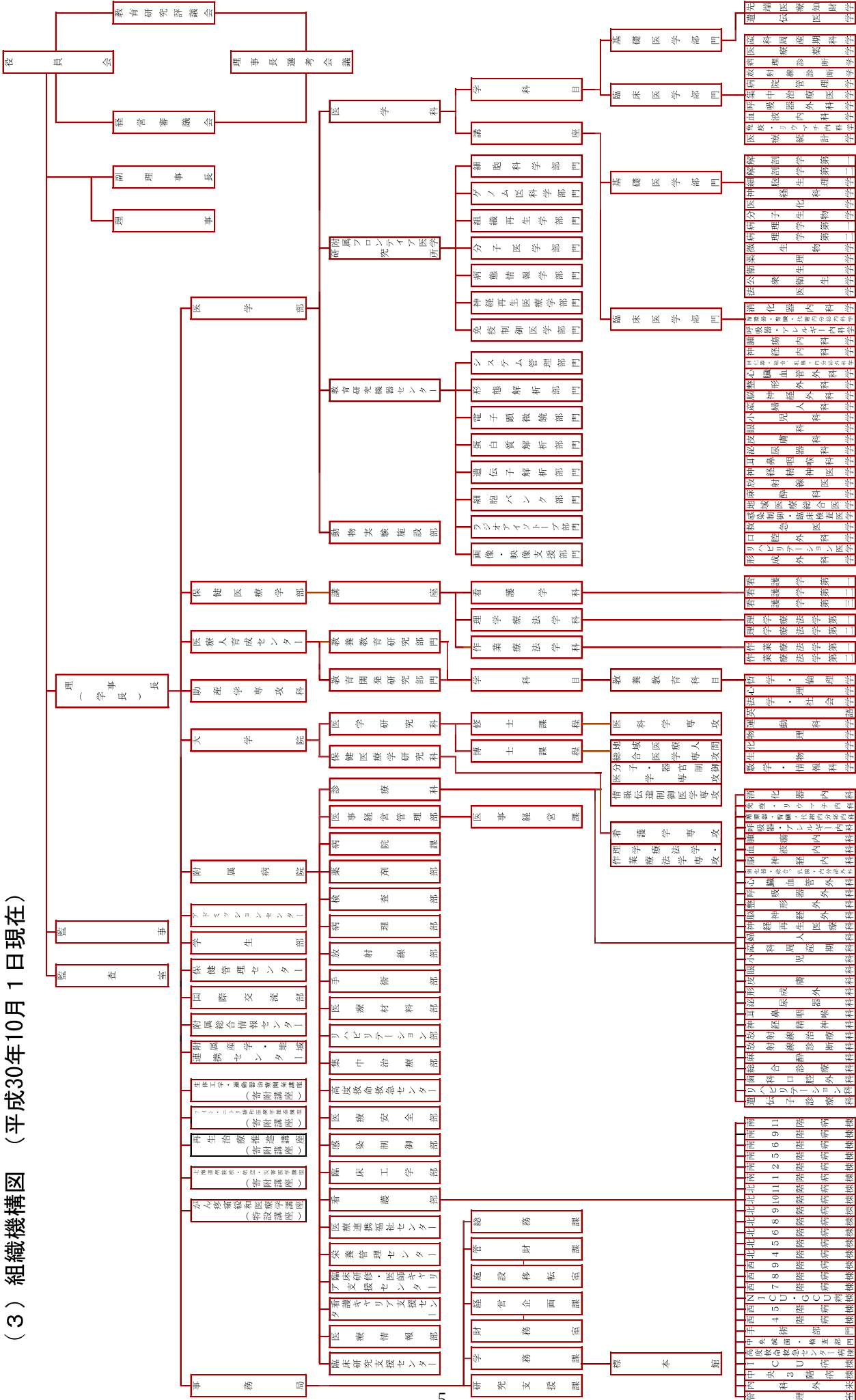
◎保健医療学部長

平成5年4月1日 — 平成9年3月31日
 平成9年4月1日 — 平成14年12月28日
 平成15年1月10日 — 平成15年2月28日
 平成15年3月1日 — 平成21年3月31日
 平成21年4月1日 — 平成27年3月31日
 平成27年4月1日 — 現 在

(学部長事務代理)

近 藤 潤 子
 佐 藤 公 剛
 乾 公 美
 丸 山 知 子
 乾 公 知 子
 大 日 公 美
 向 輝 美

(3) 組織機構図 (平成30年10月1日現在)



(4) 役職員

(平成30年10月1日現在)

□法人

◎役員会			
理事長	塚本泰司	高木洋	
副理事長	(業務運営担当) 三浦哲嗣	大日向輝美	
	(教育研究担当) 土橋和文	近江秀彦	
	(附属病院担当) 小寺正史	山本剛司	
監事			

◎経営審議会			
議長	塚本泰司	高木洋	
		三浦哲嗣	
		土橋和文	
		近江秀彦	
		太田三夫	
		瀬尾英生	
		水野克也	
		山本邦彦	
		徳田禎久	

◎教育研究評議会			
議長	塚本泰司	三浦哲嗣	
		大日向輝美	
		土橋和文	
		相馬和仁	
		高橋弘毅	
		山下俊彦	
		山本敏隆	
		堀尾嘉幸	
		小海康夫	
		山藤道明	
		小林宣道	
		三國信啓	
		齋藤豪仁	
		仙石泰子	
		中村眞理恵	
		城丸瑞篤	
		志田篤俊	
		佐藤孝紀	

◎監査室			
室長(兼)	教授	坂田耕一	

□大学

◎事務局			
学長(兼)	塚本泰司	志田篤俊	
事務局次長	田元紀昭	森元健道	
事務局次長	江本健道	齊藤文昌	
総務課長	芥川昌久	近藤肇	
管財課長	高山圭一	阿部真之	
施設移転室長			
経営企画課長			
兼財務課長			

◎医学部

学 部 長 (兼)	教授	三 浦 哲 嗣
副 学 部 長 (〃)	〃	山 蔭 道 明
〃 (〃)	〃	小 林 宣 道

○学科目

基礎医学部門

先端医療知財学	教授	石 埜 正 穂
遺 伝 医 学	〃	櫻 井 晃 洋

臨床医学部門

産科周産期科学 (兼)	教授	齋 藤 豪 篤
医 療 薬 学	〃	宮 本 川 匡
病 理 診 断 学	〃	長 谷 川 正 光
放 射 線 診 断 学	〃	晶 中 和 文
病 院 管 理 学 (兼)	〃	土 橋 好 樹
集中治療医学	〃	升 田 敦 敦
呼吸器外科学	〃	渡 辺 敦 敦
血 液 内 科 学	〃	(不 在)
免疫・リウマチ内科学	教授	高 橋 裕 樹
医 療 統 計 学	〃	樋 之 津 史 郎

○講座

基礎医学部門 (13講座)

解剖学第一講座	教授	辰 巳 治 之
解剖学第二講座	〃	藤 宮 峯 子
細胞生理学講座	〃	當 瀬 規 嗣
神 經 科 学 講 座	〃	長 峯 隆 子
医 化 学 講 座	〃	高 橋 素 子
分子生物学講座	〃	鈴 木 拓 拓
病理学第一講座	〃	鳥 越 俊 彦
病理学第二講座	〃	(不 在)
微 生 物 学 講 座	教授	横 田 伸 一
薬 理 学 講 座	〃	堀 尾 嘉 幸
衛 生 学 講 座	〃	小 林 宣 道
公衆衛生学講座	〃	大 西 浩 文
法 医 学 講 座	〃	渡 邊 智

臨床医学部門 (24講座)

消化器内科学講座	教授	仲 瀬 裕 志
循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 (兼)	〃	三 浦 哲 嗣
呼吸器・アレルギー内科学講座	〃	高 橋 弘 毅
腫瘍内科学講座	〃	加 藤 淳 二
神経内科学講座	〃	下 濱 俊
消化器・総合・乳腺・内分泌外科学講座	〃	竹 政 伊 知 朗
心臓血管外科学講座	〃	川 原 田 修 義
整形外科学講座	〃	山 下 敏 彦
脳神経外科学講座	〃	三 國 信 啓
産婦人科学講座	〃	齋 藤 豪 篤
小児科学講座	〃	(不 在)
眼 科 学 講 座	教授	大 黒 浩 浩
皮 膚 科 学 講 座	〃	宇 原 久

泌尿器科学講座	教授	舩 森 直 哉
耳鼻咽喉科学講座	(不 在)	
神経精神医学講座	教授	河 西 千 秋
放射線医学講座	〃	坂 田 耕 一
麻 酔 科 学 講 座	〃	山 蔭 道 明
地域医療総合医学講座	〃	山 本 和 利
感染制御・臨床検査医学講座	〃	高 橋 聡
救 急 医 学 講 座	〃	成 松 英 智
口腔外科学講座	(不 在)	
リハビリテーション医学講座	教授	石 合 純 夫
形成外科学講座	〃	四 ツ 柳 高 敏

○医学部附属フロンティア医学研究所

所 長 (兼)	教授	小 海 康 夫
細胞科学部門	〃	小 島 隆 隆
ゲノム医科学部門	〃	時 野 隆 至
組織再生学部門	〃	三 高 俊 広
分子医学部門	准教授	佐 久 間 裕 司
病態情報学部門	教授	小 海 康 夫
神経再生医療学部門	〃	本 望 修 修
免疫制御医学部門	〃	一 宮 慎 吾

○医学部教育研究機器センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	當 瀬 規 嗣
システム管理部門長 (〃)	教授	當 瀬 規 嗣
形態解析部門長 (〃)	講師	村 田 雅 樹
電子顕微鏡部門長 (〃)	准教授	二 宮 孝 文
蛋白質解析部門長 (〃)	教授	高 橋 素 子
遺伝子解析部門長 (〃)	教授	鈴 木 拓 拓
細胞バンク部門長 (〃)	講師	佐 々 木 祐 典
ラジオアイソトープ部門長 (〃)	教授	畠 中 正 光
画像・映像支援部門長 (〃)	〃	鳥 越 俊 彦

○医学部動物実験施設部

部 長 (兼)	教授	藤 宮 峯 子
副 部 長 (〃)	講師	佐 々 木 崇

◎保健医療学部

学 部 長 (兼)	教授	大 日 向 輝 美
副 学 部 長 (〃)	〃	仙 石 泰 仁
〃 (〃)	〃	中 村 眞 理 子

○看護学科

学 科 長 (兼)	教授	城 丸 瑞 恵
看護学第一講座 (兼)	〃	大 日 向 輝 美
〃	〃	堀 口 雅 美
〃	〃	水 口 徹
看護学第二講座	〃	今 野 美 紀
〃 (兼)	〃	正 岡 経 子
看護学第三講座	〃	城 丸 瑞 恵
〃	〃	長 谷 川 眞 澄
〃	〃	齋 藤 重 幸

○理学療法学科

学 科 長 (兼)	教授	片 寄 正 樹
理学療法学第一講座	〃	小 塚 直 樹
〃	〃	古 名 丈 人
理学療法学第二講座	〃	片 寄 正 樹
〃	〃	松 村 博 文
〃	〃	渡 邊 耕 太

○作業療法学科

学 科 長 (兼)	教授	仙 石 泰 仁
作業療法学第一講座	〃	中 村 眞 理 子
〃	〃	太 田 久 晶
〃	〃	今 井 富 裕
作業療法学第二講座	〃	仙 石 泰 仁
〃	〃	池 田 望
〃	〃	松 山 清 治

◎医療人育成センター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	相 馬 仁
副 セ ン タ ー 長	〃	木 村 眞 司

○教養教育研究部門

部 門 長 (兼)	教授	木 村 眞 司
-----------	----	---------

学科目

教養教育科目

哲 学 ・ 倫 理 学	准教授	舩 木 祝
心 理 学	〃	田 中 豪 一
〃	〃	高 橋 義 信
法 学 ・ 社 会 学	〃	旗 手 俊 彦
〃	〃	道 信 良 子
英 語	教授	木 村 眞 司
運 動 科 学		(不 在)
物 理 学	教授	高 田 純
化 学	〃	平 山 明 子
生 物 学	〃	佐 々 木 泰 史
数 学 ・ 情 報 科 学	准教授	大 柳 俊 夫
〃	〃	加 茂 憲 一

○教育開発研究部門

部 門 長 (兼)	教授	相 馬 仁
教育開発研究部門	〃	相 馬 仁

◎助産学専攻科

専 攻 科 長 (兼)	教授	大 日 向 輝 美
	教授	正 岡 経 子

◎附属病院

病院 長(兼)	教授	土 橋 和 文
副 院 長(〃)	〃	三 國 信 啓
〃(〃)	〃	齋 藤 豪 哉
〃(〃)	〃	舩 森 直 哉
〃(〃)	看護部長	萩 原 直 美
病 院 事 務 長(〃)		江 本 健 道

診療科 (29科938床)

消 化 器 内 科 長(兼)	教授	仲 瀬 裕 志
免疫・リウマチ内科長(〃)	〃	高 橋 裕 樹
循環器・腎臓・代謝内分泌科長(〃)	〃	三 浦 哲 嗣
呼吸器・アレルギー内科長(〃)	〃	高 橋 弘 毅
腫 瘍 内 科 長(〃)	〃	加 藤 淳 二
血 液 内 科 長(〃)	〃	土 橋 和 文
脳 神 経 内 科 長(〃)	〃	下 濱 俊
消化器・総合・乳腺・内分泌外科長(〃)	〃	竹 政 伊 知 朗
心臓血管外科長(〃)	〃	川 原 田 修 義
呼吸器外科長(〃)	〃	渡 辺 敦
整 形 外 科 長(〃)	〃	山 下 敏 彦
脳 神 経 外 科 長(〃)	〃	三 國 信 啓
神経再生医療科長(〃)	〃	本 望 修
婦 人 科 長(〃)	〃	齋 藤 豪 哉
産科周産期科長(〃)	〃	齋 藤 豪 哉
小 児 科 長(〃)	〃	宇 原 久
眼 科 長(〃)	〃	大 黒 浩
皮 膚 科 長(〃)	〃	宇 原 久
形 成 外 科 長(〃)	〃	四 ッ 柳 高 敏
泌 尿 器 科 長(〃)	〃	舩 森 直 哉
耳 鼻 咽 喉 科 長(〃)	〃	三 浦 哲 嗣
神経精神科長(〃)	〃	河 西 千 秋
放射線治療科長(〃)	〃	坂 田 耕 一
放射線診断科長(〃)	〃	畠 中 正 光
麻 酔 科 長(〃)	〃	山 蔭 道 明
総合診療科長(〃)	〃	山 本 和 利
歯科口腔外科長(〃)	〃	齋 藤 豪 哉
リハビリテーション科長(〃)	〃	石 合 純 夫
遺伝子診療科長(〃)	〃	櫻 井 晃 洋

病院課

病 院 課 長		杉 本 曜 子
医事経営管理部		
部 長(兼)	教授	土 橋 和 文
副 部 長(〃)		江 本 健 道
医事経営課		
医 事 経 営 課 長		金 盛 修
薬剤部		
部 長(兼)	教授	宮 本 篤
検査部		
部 長(兼)	教授	高 橋 聡
病理部		
部 長(兼)	教授	長 谷 川 匡
放射線部		
部 長(兼)	教授	坂 田 耕 一
手術部		
部 長(兼)	教授	渡 辺 敦
医療材料部		
部 長(兼)	教授	仲 瀬 裕 志
リハビリテーション部		
部 長(兼)	教授	石 合 純 夫

高度救命救急センター

セ ン タ ー 長(兼)	教授	成 松 英 智
集中治療部		
部 長(兼)	教授	升 田 好 樹
医療安全部		
部 長(兼)	教授	舩 森 直 哉
感染制御部		
部 長(兼)	教授	高 橋 聡
臨床工学部		
部 長(兼)	教授	川 原 田 修 義
看護部		
部 長		萩 原 直 美
医療連携福祉センター		
セ ン タ ー 長(兼)	教授	齋 藤 豪 哉
栄養管理センター		
セ ン タ ー 長(兼)	教授	齋 藤 豪 哉
臨床研修・医師キャリア支援センター		
セ ン タ ー 長(兼)	教授	成 松 英 智
看護キャリア支援センター		
セ ン タ ー 長(兼)	看護部長	萩 原 直 美
医療情報部		
部 長(兼)	教授	大 西 浩 文
臨床研究支援センター		
セ ン タ ー 長(兼)	教授	土 橋 和 文

◎アドミッションセンター

セ ン タ ー 長 (兼)	教授	高 橋 弘 毅
副 セ ン タ ー 長 (〃)	〃	中 村 眞 理 子
	講師	三 瀬 敬 治
	〃	齊 藤 正 樹
(兼)	教授	鈴 木 拓
(〃)	〃	高 橋 素 子
(〃)	〃	大 西 浩 文
(〃)	准教授	堀 司
(〃)	講師	久 野 篤 史
(〃)	教授	今 野 美 紀
(〃)	〃	小 塚 直 樹
(〃)	〃	池 田 望
(〃)	准教授	上 田 泉
(〃)	〃	中 島 そ の み
(〃)	講師	木 島 輝 美
(〃)	〃	佐 々 木 健 史
(〃)	准教授	鈴 木 健 史
(〃)	〃	船 木 祝
(〃)	〃	山 口 和 彦

◎学生部

部 長(兼)	教授	下 濱 俊
副 部 長(〃)	〃	齋 藤 重 幸
	(〃)	鈴 木 拓
	(〃)	古 名 丈 人

◎保健管理センター

セ ン タ ー 長(兼)	教授	高 橋 聡
副 セ ン タ ー 長(〃)	〃	齋 藤 重 幸

◎国際交流部

部	長(兼)	教授	山	下	敏	彦
	(〃)	〃	舩	森	直	哉
	(〃)	〃	山	蔭	道	明
	(〃)	〃	小	塚	直	樹

◎附属総合情報センター

センター	長(兼)	教授	長	峯	隆
副センター	長(〃)	准教授	大	西	浩文
	〃		関	上	友季子

◎附属産学・地域連携センター

センター	長(兼)	教授	堀	尾	嘉幸
研究部門	長(〃)	教授	堀	尾	嘉幸
開発部門	長(〃)	〃	石	埜	正穂

(寄附講座)

生体工学・運動器治療開発講座	特任教授	名	越	智
アイン・ニトリ緩和医療学講座(兼)	教授	山	蔭	道明
再生治療推進講座(兼)	教授	本	望	修
北海道病院前・航空・災害医学講座(兼)	教授	成	松	英智

(特設講座)

がん疼痛緩和医療学講座(兼)	教授	山	蔭	道明
----------------	----	---	---	----

(7) 正職員数

(平成30年10月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

			計	学 長	医 学 部							保健医療学部		助 産 学 専 攻 科	附 属 病 院	アドミ ッ シ ョ ン セ ン タ ー	保 健 管 理 セ ン タ ー	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー	事 務 局	監 査 室			
					医 学 科				医 附 属 学 研 究 所	教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科									作 業 療 法 学 科	教 養 教 育 研 究 部 門	教 育 開 発 研 究 部 門
					学 科 目 （基礎医学部門）	学 科 目 （臨床医学部門）	講 座 （基礎医学部門）	講 座 （臨床医学部門）																
教 育 職	学 長	1	1																					
	教 授	72		2	8	12	21	6		6	5	6	4	1	1									
	准 教 授	61			5	8	22	3		6	2	3	10	1	1									
	講 師	90			5	13	46	5		8	1	3	3	2	1	2		2						
	助 手	170		1	19	25	110	5		3	5	1			2	1								
計		404	1	3	37	59	199	20		1	14	14	17	4	6		2							
一 般 職	局 長・次 長 等	3														1					2			
	課 長等・副課長等	29														9				18	1			
	一 般 事 務 職 員	136		1												46			6	82				
	技 師	24				2		1	5	2						2				12				
	精 神 保 健 福 祉 士	2														2								
	電 頭 操 作 員	2							2															
	司 書	5																5						
	研 究 補 助 員	4				1		2					1											
技 能 員	1														1									
看 護 助 手	4														4									
計 (1)		210		1		3		3	7	2				1		65			12		114	2		
医 療 職	獣 医 師	2								2														
	栄 養 士	6														6								
	臨 床 検 査 技 師	56						1	2							53								
	衛 生 検 査 技 師																							
	薬 剤 師	54														54								
	診 療 放 射 線 技 師	54								4						50								
	理 学 療 法 士	15														15								
	作 業 療 法 士	5														5								
	言 語 聴 覚 士	5														5								
	理 療 訓 練 員	1														1								
	臨 床 工 学 技 士	19														19								
歯 科 衛 生 士	3														3									
歯 科 技 工 士	2														2									
視 能 訓 練 士	2														2									
計 (2)		224						1	6	2					215									
看 護 職	看 護 師	743														743								
	助 産 師	33														33								
	保 健 師	1															1							
計 (3)		777													776		1							
(1)+(2)+(3)		1,211		1		3		4	13	4			1			1,056		1	12		114	2		
総 計		1,615	1	4	37	62	199	24	13	5	27	14	14	18	4	6	1,056	2	1	12		114	2	

※ 役員で職員を兼務する者(理事長、医学部教授、保健医療学部教授)4名を含む

※ 職員数は、再雇用職員を含む

イ 医学部学科目(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学 科 目 (基礎医学部 門)	
		先 端 医 療 知 財 学	遺 伝 医 学 計
職 種	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 1 1 2
	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 1 1 3
	一般職	一般事務職員	1 1 1 3
合 計			4

ウ 医学部学科目(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所 属		学 科 目(臨床医学部 門)										計
		産科 周産期 科学	医 療 薬 学	病 理 診 断 学	放 射 線 診 断 学	病 院 管 理 学	集 中 治 療 医 学	呼 吸 器 外 科 学	血 液 内 科 学	免 疫・リウ マチ内 科学	医 療 統 計 学	
職 種	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 1 2	1 1 3	1 1 2	1 2 2	1 1 4	1 1 2	1 1 3	1 1 1	1 1 1	8 5 5 19
	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 1 2	1 1 3	1 1 2	1 2 2	1 1 4	1 1 2	1 1 3	1 1 1	1 1 1	8 5 5 19
	一般職	一般事務職員	1 1 2	1 1 3	1 1 2	1 2 2	1 1 4	1 1 2	1 1 3	1 1 1	1 1 1	8 5 5 19
合 計			4	5	4	5	6	4	4	3	1	37

エ 医学部講座(基礎医学部門)職員数 (単位:人)

所 属 講 座		講 座 (基 礎 医 学 部 門)													計
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	細 胞 生 理 学	神 經 科 学	医 化 学	分 子 生 物 学	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学	法 医 学	
職 種	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 2 1 1	1 1 1 2	1 1 1 4	1 1 1 2	1 1 2 2	1 2 1 1	1 1 2 1	1 1 4 3	1 1 1 3	1 2 1 1	1 2 2 2	1 1 1 1	12 8 13 25 1
	教 育 職	教授 准教授 助 手	1 2 1 1	1 1 1 2	1 1 1 4	1 1 1 2	1 1 2 2	1 2 1 1	1 1 2 1	1 1 4 3	1 1 1 3	1 2 1 1	1 2 2 2	1 1 1 1	12 8 13 25 1
	一般職	研究補助員 技 師	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 2 3 3
合 計			6	6	5	5	3	5	5	4	6	5	5	5	62

オ 医学部講座(臨床医学部門)職員数 (単位:人)

所属講座			講座（臨床医学部門）																				計					
			消化器内科学	内分泌内科学	循環器・腎臓・代謝学	呼吸器・アレルギー学	腫瘍内科学	神経内科学	腺・内分泌外科学	消化器・総合、乳心臓血管外科学	整形外科学	脳神経外科学	産婦人科学	小児科学	眼科学	皮膚科学	泌尿器科学	耳鼻咽喉科学	神経精神医学	放射線医学	麻酔科学	地域医療総合医学		検査医学	感染制御・臨床医学	救急医学	口腔外科学	リハビリテーション学
職 種	教 育 職	授 授 師 教 手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21
			2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	2	2	4	3	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1
一般職	研 究 補 助 員	計 能 員 員	2	3	1	2	1	3	2	2	4	3	4	2	3	2	2	3	2	2	3	1	3	3	8	2	4	46
			4	7	6	5	6	8	4	8	4	4	4	4	3	5	4	3	3	5	4	4	1	3	8	4	2	110
合 計			9	13	10	9	9	13	6	13	8	10	9	8	8	8	7	7	7	10	2	4	12	7	4	6	199	

カ 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		計
		看護学第一	看護学第二	看護学第三	理学療法学科第一	理学療法学科第二	作業療法学科第一	作業療法学科第二	
職 種	教 育 職	3	1	3	2	3	3	3	18
	教 准	2	2	2	1	1	2	1	11
	講 師	1	4	3	1	1	1	2	12
	助 手	1	1	2	1	4			8
	計	2	1	1	1	1	1	1	7
合 計		9	8	11	6	8	7	7	56

キ 医療人育成センター職員数 (単位:人)

所 属		教養教育研究部門									計	
		学 科 目 (教養教育科目)										
		哲 学 ・ 倫理学	心 理 学	法 学 ・ 社会学	英 語	運 動 科 学	物 理 学	化 学	生 物 学	数 学 ・ 情報科学		
職 種	授 授 師 教 手	1	2	2	1		1	1	1	2	1	5
教育職	教 准 講 助 助	1	2	2	1		1	1	1	2	1	11
	計	1	3	2	3		2	2	2	2	4	21
一般職	研 究 補 助 員		1									1
	計		1								1	1
合 計		1	4	2	3		2	2	2	2	4	22

ク 助産学専攻科職員数 (単位:人)

所 属		助産学専攻科	計
職 種	教 育 職	1	1
	教 准	1	1
	講 師	1	1
	助 手	2	2
	計	1	1
合 計		6	6

ケ 附属病院職員数 (単位:人)

所 属		附 属 病 院																									
		病 院	医 事 經 營 管 理 部	薬 劑 部	検 査 部	病 理 部	放 射 線 部	手 術 部	医 療 材 料 部	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	集 中 治 療 部	医 療 安 全 部	感 染 制 御 部	看 護 部	臨 床 工 学 部	医 療 連 携 福 祉 セ ン タ ー	栄 養 管 理 セ ン タ ー	臨 床 研 修 セ ン タ ー	看 護 キ ャ リ ア 支 援 セ ン タ ー	産 科 周 産 期 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	神 經 精 神 科	齒 科 口 腔 外 科	計	
職 種	課	1 3 20	4 14			2	1						1		3		1 7	1							2		1 9 45 2 2 1 4
一 般 職	局長・次長等 課長・副課長等 一般事務員 精神保健福祉士 能補助手 薬剤師 看護管理員 計	24	18			2	1						1		7		8	1							2		64
	臨床検査技師 薬剤放線療法士 診療理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 臨床工衛生技師 歯科衛生士 歯科衛生士 養護士 計			53	46	5	50			15 5 3 1				1								1					52 54 50 15 5 5 1 19 3 2 2 6
医 療 職	臨床検査技師 薬剤放線療法士 診療理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 臨床工衛生技師 歯科衛生士 歯科衛生士 養護士 計			53	46	5	50			24			1			19		6				1	2	2		5	214
	看護助産師 看護士 計		3										2	1	727 33		6										739 33
看 護 職	看護士 看護士 計		3										2	1	760		6										772
合 計		24	21	53	46	7	51			24			4	1	767	19	14	7				1	2	2	2	5	1050

コ 事務局職員数		(単位:人)						
所 属 職 種		事 務 局						
		局 長 ・ 次 長 等	総 務 課	管 財 課	経 営 企 画 課	学 務 課	研 究 支 援 課	計
一	局 長 ・ 次 長 等	2						2
般	課 長 等 ・ 副 課 長 等		3	5	3	4	3	18
	一 般 事 務 職 員		18	12	16	22	14	82
	技 守			12		1		13
職	研 究 補 助 員							
	ボ イ ラ ー 技 師							
	合 計	2	21	29	19	27	17	115

(8) 主な研究題目

ア 医学部

学 科 目 (基 礎)	先 端 医 療 知 財 学	1 医療関連技術の特許制度による有効な保護と活用に関する研究 再生医療における細胞や組織の知的財産 手術・治療方法の知的財産 革新的技術の有効な特許保護 2 医学研究分野における産学連携システムの構築 3 臨床試験データの財産的活用 4 再生医療技術開発における共通基盤確立に向けた研究
	遺 伝 医 学	1 人類遺伝学および細胞遺伝学に関する研究 2 染色体異常や多因子遺伝病の背景と遺伝診断、遺伝カウンセリングに関する研究 3 遺伝性腫瘍の診断と治療に関する研究 4 先天奇形症候群の診断と治療に関する研究 5 診断不確定の稀少疾患の遺伝学的診断に関する研究 6 遺伝医療に関連する倫理的・法的・社会的問題に関する研究 7 遺伝学、遺伝医学についての社会啓発に関する研究
学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	産 科 周 産 期 科 学	1 卵巣過剰刺激症候群の病態の解明 2 子宮頸癌の子宮温存術後の妊娠と子宮内感染予防の研究 3 出生前診断に関する研究 4 産褥子宮復古と卵管とのマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究 5 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学研究 6 環境ホルモンが妊娠及び生殖内分泌に与える影響の検討 7 癒着胎盤症例の安全な帝王切開術の開発 8 性同一性障害症例の内分泌学的特徴の検討
	医 療 薬 学	1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究 2 医薬品の適性使用に関する基礎的・臨床的研究
	病 理 診 断 学	1 骨軟部腫瘍の腫瘍発生および悪性度に関与する遺伝子異常の解明 2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討 3 新しい分子病理診断法の開発・導入 4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索 5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析
	放 射 線 診 断 学	1 PETやMRI情報に基づく悪性治療の治療効果予測 2 造影コントラスト向上のための撮影条件の検証 3 融合画像におけるアイソトープの集積部位の解剖学的検討 4 アイソトープ治療の適正化とエビデンスの確立 5 CT検査による被曝線量低減 6 画像データの再現性検証
	病 院 管 理 学	1 大学病院を中心とした病院経営指標の確立とこれに基づく適性人的および経済的資源配置の研究 2 多施設ベンチマークデータ集積による医療効率と疾患傾向の策定に関する研究 3 病院情報の集積と教育手段としての有効な二次利用法の方策の研究 4 医療効率よりの病・病（診）連携のありかたと多施設検討のための集積と分析ソフトウェア開発 5 医療プロセス分析による多職種作業分担の研究

学 科 目 (臨 床 医 学 部 門)	集 中 治 療 医 学	1 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理ならびに治療に関する研究 2 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究 3 重症患者における急性血液浄化療法に関する基礎的、臨床的研究 4 重症急性呼吸不全に関する分子生物学的研究 5 高度侵襲および敗血症における消化管機能ならびに栄養に関する臨床的研究
	呼 吸 器 外 科 学	1 肺癌術後の残存肺における気腫性変化の研究 2 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究 3 胸部疾患に対する胸腔鏡及びロボット支援による手術適応拡大の研究 4 肺癌に対する外科治療の縮小手術適応に関する研究 5 肺癌における癌遺伝子に関する研究
	血 液 内 科 学	1 造血幹細胞の細胞周期およびDNA修復機構破綻による遺伝子変異と癌化の解明 2 血液・腫瘍幹細胞および間質細胞による腫瘍形成と薬剤耐性機構の解析 3 多発性骨髄腫のバイオインフォマティクスを用いたデータ集積および解析法 4 FASTAQデータ集積法を用いた薬剤耐性とクローン拡大の解析 5 移植・腫瘍免疫を制御する分子機構からみた造血幹細胞ソースの選択法の解明 6 クリニカルシーケンスデータからみた悪性リンパ腫の薬剤耐性遺伝子群の解析 7 ゲノム編集および細胞リプログラミング法を用いた血液腫瘍幹細胞の解析
	免疫・リウマチ内科学	1 関節リウマチの早期診断・治療に関する研究 2 全身性強皮症の早期診断・治療に関する研究 3 IgG4関連疾患の病因・病態の解明と新規治療法の開発 4 ステロイド性骨壊死の予防法に関する研究 5 膠原病診療における生物学的製剤の有効活用に関する研究
	医 療 統 計 学	1 レセプトデータベースを用いたビッグデータ解析 2 診療ガイドライン作成支援と論文の評価 3 文献検索結果の統合と分析 4 システマティックレビューの方法論と実践 5 データマネジメントと統計解析結果の検討
講 座 (基 礎 医 学 部 門)	解 剖 学 第 一 講 座	1 消化管の超微形態学および三次元的解析 2 情報薬による戦略的防衛医療構想に関する研究 3 ITをフル利活用したホームヘルスケアシステムに関する研究 4 インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用 5 神経細胞の特性の解析 6 上皮組織・神経組織におけるイオンチャネルと細胞接着装置の機能解析 7 解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築 (URL http://www.sapmed.ac.jp/anat/) 8 神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明 9 大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析
	解 剖 学 第 二 講 座	1 再生医学と変性疾患の解明のための幹細胞研究 2 骨髄間葉系幹細胞を用いた糖尿病合併症および慢性疾患の治療 3 骨髄間葉系幹細胞を用いたアルツハイマー型認知症の治療 4 刺激豊かな環境が認知症の学習記憶障害へ及ぼす影響の解析
	細胞生理学講座	1 心拍動開始時期における心臓の機能的変化の検討 2 成長に伴うイオンチャネルの遺伝子発現量および電流量変化に関する研究 3 チャネル電流に作用する新たな分子の同定・機能解析 4 諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究

講 座 (基 礎 医 学 部 門)	神 經 科 学 講 座	1 非侵襲的脳機能検査法を用いたヒト高次脳機能の解明 2 運動制御に関わる中枢神経機構 3 学習の神経機構 4 海馬シナプスの伝達機構の解明 5 脳血管細動脈による脳循環動態の調節の解明
	医 化 学 講 座	1 肺サーファクタントタンパク質による生体防御の分子機構 2 肺サーファクタントタンパク質の抗がん作用の分子機構 3 糖鎖による増殖因子受容体の制御機構 4 酸化還元酵素の構造と機能
	分 子 生 物 学 講 座	1 癌のエピジェネティクス (DNAメチル化とヒストン修飾) 2 癌のシグナル伝達機構の解析 3 クロマチンレベルでの遺伝子発現制御の分子機構解析 4 癌における非コードRNAの異常と制御 5 エピゲノム解析による新しい癌の診断および治療法開発 6 組織及び癌幹細胞のエピゲノム解析
	病 理 学 第 一 講 座	1 腫瘍免疫分子機構、ヒトがんワクチン開発 2 がん幹細胞の免疫分子生物学 3 腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構 4 分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌 5 抗原処理提示の分子機構 6 細胞ストレス応答機構 7 白血病、悪性リンパ腫の分子遺伝学 8 遺伝子診断と分子病理診断
	病 理 学 第 二 講 座	1 さまざまな臓器や組織におけるタイト結合に関する研究 2 生体バリアを担うタイト結合の機能・分子病理学 3 がんにおけるタイト結合の機能異常の理解 4 細胞接着の観点から理解する細胞の極性形成機構の解明 5 タイト結合の機能失調に起因する“タイト結合病”の理解とその機能制御による疾患治療法の開発 6 星細胞を起点として理解する多彩な病態と新しい治療戦略の創出 7 プロテオミクス技術を用いた新規バイオマーカーの探索と疾患治療への応用 8 遺伝子組み換え動物を用いた疾患モデルの作製
	微 生 物 学 講 座	1 病原体関連分子パターン (PAMPs) の構造、生物活性、抗原性 2 微生物感染によるサイトカイン及びToll様受容体シグナル伝達系の変動に関する研究 3 抗菌薬耐性菌の耐性機構及び分子疫学 4 抗菌薬が有する抗菌活性以外の薬理作用 5 微生物感染における分子シャペロン 6 ピロリ菌の感染経路、病原性に関する研究
	薬 理 学 講 座	1 老化の解明、特に長寿遺伝子産物サーチュインの機能の解明
	衛 生 学 講 座	1 下痢症ウイルスの分子疫学 2 ウィルス遺伝子の複製、変異のメカニズム 3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析 4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学 5 病原細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学 6 感染症流行および生体データに関する時系列解析

講座 (基礎医学部門)	公衆衛生学座	1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究 2 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究 3 障害児の運動機能の変化に関する研究 4 職場におけるストレスと精神的健康度に関する予防医学的、疫学的研究 5 地域住民や学童に対する予防教育介入研究 6 情報伝達方法に関する研究
	法医学講座	1 各種病態における死後画像診断基準の策定 2 死後画像を用いた個人識別法の開発 3 薬物乱用に至るメカニズムの検討
講座 (臨床医学部門)	消化器内科学講座	1 消化器疾患の病態解明とその臨床応用 2 免疫制御機構からみた消化器疾患の病態解明 3 iPS細胞 / オルガノイドを駆使した消化管疾患の病態解明 4 腸炎関連大腸癌の発生機序の解明 5 遺伝性大腸癌の診断と治療 6 消化器癌の個別化医療とバイオマーカーの開発 7 腸内フローラと発癌の病態解明 8 臨床検体を用いたゲノム・エピゲノム解析とその臨床応用 9 潰瘍性大腸炎粘膜治癒の定量的判定を目指した内視鏡画像解析装置の新規開発 10 肝胆膵領域における新しい画像診断と遺伝子診断の開発 11 肝・胆・膵癌に対する抗体療法の開発 12 肝硬変におけるサルコペニアと予後 13 肝細胞癌に対する分子標的治療薬の治療効果予測および耐性機序の解明 14 胆道癌の微小環境の病態解明 15 MEFV遺伝子関連腸炎の診断法の確立 16 サイトメガロウイルスに対する免疫応答判定法の新規開発 17 C型肝炎に対するDAA治療における効果予測および関連因子の解明
	循環器・腎臓・代謝 内分泌内科学講座	1 高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 2 糖尿病性心血管合併症の病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 3 虚血性心疾患の病態・薬物療法に関する多施設共同登録研究 4 虚血性心疾患のカテーテル治療に関する基礎的・臨床的研究 5 心筋細胞ネクロシス、アポトーシス、ネクロプトーシスに関する基礎的研究 6 急性心不全の治療に関する臨床的研究 7 肺高血圧症の病態と治療に関する研究 8 心房細動の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究 9 不整脈の侵襲的治療法に関する基礎的・臨床的研究 10 急性腎障害の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究 11 腎生検に関する多施設共同登録研究 12 心不全、腎不全の病態におけるオートファジーの役割に関する基礎的・臨床的研究 13 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究

講 座 (臨 床 医 学 部 門)	呼 吸 器 ・ ア レ ル ギ ー 内 科 学 講 座	1 間質性肺炎の診断、病態、治療に関する研究 2 肺癌の診断、病態、予後因子、治療に関する研究 3 気管支喘息の診断、病態、治療に関する研究 4 過敏性肺炎、職業病性肺疾患の診断、病態、治療に関する研究 5 各種呼吸器感染症、結核の診断、病態、治療に関する研究 6 慢性閉塞性肺疾患、閉塞性細気管支炎の診断、病態、治療に関する研究 7 難治性呼吸器疾患、稀少肺疾患の原因探索と新規治療法の研究 8 環境要因と呼吸器疾患の関わりについての研究 9 肺自然免疫と呼吸器疾患の関わりについての研究 10 胸部画像診断技術の複合的応用に関する研究 11 新規医療技術の呼吸器疾患診断への応用に関する研究
	腫 瘍 内 科 学 講 座	1 食道癌に対する新規化学療法の開発 2 胃癌に対する新規化学療法の開発 3 大腸癌に対する新規化学療法の開発 4 膵癌に対する新規化学療法の開発 5 慢性肝炎における肝癌発症因子の探索 6 慢性肝炎における鉄代謝異常の解析 7 肝細胞癌に対する動注化学療法の開発 8 粘液産生膵腫瘍に対する新規治療法の開発 9 閉塞性黄疸に対する新規治療法の開発 10 悪性骨軟部腫瘍に対する新規治療法の開発
	神 経 内 科 学 講 座	1 アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症におけるニューロン死の機序の解明、細胞死を防ぐ神経保護活性物質の探索 2 障害を受けた脳・脊髄や末梢神経・筋肉の可塑的再生、機能回復を目指す神経再生研究 3 重症筋無力症の病態解明への三叉神経刺激による咬筋反復刺激検査の臨床応用 4 筋萎縮性側索硬化症の呼吸障害の病態解明 5 重症筋無力症における興奮収縮連関障害の解明 6 神経変性疾患の病態におけるヒストン脱アセチル化酵素SIRTファミリーの機能的役割 7 多発性硬化症におけるオリゴデンドロサイトの保護・再髄鞘化に関する研究 8 神経変性疾患関連遺伝子の検索 9 脳卒中及び認知症の医療と福祉に関わる多職種卒前卒後教育システムの開発 10 北海道における老年医療と看護、介護における広域連携システムの構築 11 脳卒中医療における超音波診断法の開発と人材育成

講座（臨床医学部門）	消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座	1 IoT実用化に関するリアルタイム映像配信と相互システムの開発 2 膵癌切除症例における早期再発に關与する surrogate marker の探索的研究 3 尾側膵切除での膵実質切断における膵断端処理の多施設共同前向き観察研究 4 術中インドシアノグリーン蛍光診断法を用いた肝切除術の確立 5 胆道再建を伴う肝葉切除以上を要する症例における残肝予備能評価法の妥当性に関する多施設共同観察研究 6 胃 perfusion-CT による膵頭十二指腸切除術後、胃排泄遅延（delayed gastric emptying, DGE）の解析 7 肝幹細胞移植による糖尿病再生医療の開発 8 膵切除標本から確立された正常ヒト膵管上皮細胞モデルと膵癌細胞株を用いた in vitro の機能解析 9 Heat Shock Protein の乳がんにおけるバイオマーカーとしての可能性 10 乳がんにおける PD-L1 と MHC-class I の発現と治療効果予測の検討 11 転移再発乳がんにおける経時的な癌免疫応答の推移について 12 遺伝性乳がんに対する集学的治療 13 免疫関連遺伝子から見た乳がん微小環境内の腫瘍関連マクロファージの動態について 14 乳房部分切除術の断端陽性症例における局所再発に影響する因子の検討 15 肥満外科手術に関する臨床研究 16 胃癌手術におけるロボット手術の有用性に関する臨床研究 17 胸腔鏡下食道手術における低侵襲性に関する臨床研究 18 胃癌の浸潤性獲得に関する基礎研究 19 周術期栄養状態と生体侵襲との関連についての基礎研究 20 腹腔鏡下胃切除術の定型化と教育法に関する研究 21 次世代シーケンサーを用いた大腸癌末梢血抗のEGFR抗体非侵襲的感受性診断の検討 22 メタボロミクス解析を用いた大腸癌末梢血スクリーニングの早期診断の検討 23 直腸癌手術におけるロボット手術の臨床応用に関する研究 24 肛門温存手術と肛門残存機能に関する臨床研究 25 大腸癌手術時のICG蛍光法によるリンパ節ナビゲーションおよび血流定性に関する臨床研究 26 大腸癌手術教育における Cadaver surgical training の有用性に関する研究 27 進行直腸癌における術前化学療法の効果予測因子に関する研究 28 直腸癌における circumferential resection margin 測定が可能な検体処理方法に関する検討 29 大腸癌手術における遠隔医療教育システムの構築
	心臓血管外科学講座	1 重症心疾患に対する長時間心筋保護の安全性確立についての研究 2 弁膜症に対する自己弁温存法術式確立の研究 3 解離性大動脈瘤に対する病変部からみた手術及び追隔成績の検討 4 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究 5 重症冠動脈疾患に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究 6 心臓疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究 7 心筋・血管・心臓弁に対する再生法の研究 8 慢性B型大動脈解離に対する血管内治療法に関する研究 9 冠動脈バイパス手術における全動脈グラフトの組織学および流体力学的研究 10 胸腹部大動脈瘤に対する血管内治療（ステントグラフト内挿術）についての研究 11 胸部大動脈瘤術後の虚血性脊髄障害に対する間葉系幹細胞を用いた治療法の開発 12 楕円フーリエ解析法を用いて急性大動脈解離発症後の偽腔形態解析と拡大予測の検討 13 冠動脈疾患を有する患者における内胸動脈および冠動脈の血管周囲脂肪組織の性質の違いに関する研究

講座 (臨床 医学部 門)	整形外科学講座	1 骨髄間葉系幹細胞を用いた脊髄再生研究 2 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫ワクチン療法の開発 3 四肢のバイオメカニクスに関する研究 4 脊椎疾患に関する定量的画像診断の研究 5 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する電気生理学的研究 6 骨粗鬆症に伴う疼痛の研究 7 骨量に影響を及ぼす諸因子の研究 8 脊椎低侵襲手術の開発 9 各種関節鏡視下手術の開発 10 3D鋳型を用いた手術手技の開発 11 新しい人工膝関節置換術の適切な手技の開発 12 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立 13 スポーツ障害と外傷の予防と治療 14 骨軟部腫瘍における再発・予後因子に関する研究
	脳神経外科学講座	1 もやもや病の遺伝子解析 2 3D CTAやEPIを用いたfunctional MRIなどの新しい画像診断システムの開発 3 グリオーマの免疫療法の研究 4 脊髄損傷の基礎研究 5 血管内手術の基礎的研究 6 神経幹細胞移植に関する研究 7 脊髄誘発電位の臨床応用 8 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発 9 覚醒下手術を用いた脳機能代償機構の研究 10 てんかんの病態・治療の研究 11 CT/MRIのfusion画像を用いた手術支援システムの開発 12 頭蓋底手術に対する頭頸部微小解剖研究 13 手術訓練を目的とした頭蓋骨、脳、脳神経、硬膜模型の開発 14 Selective Laser Sinteringを用いた術前シミュレーションのための疾患模型の開発 15 移植免疫に対する間葉系幹細胞の免疫原性の解析 16 腫瘍幹細胞に関する基礎研究 17 再発悪性神経膠腫に対する化学療法の研究 18 脳腫瘍に対する術中蛍光診断に関する研究 19 TractographyやfMRIを用いた覚醒下手術の検討 20 ステンツを用いた脳動脈瘤治療の研究 21 頸動脈ステント留置術後の残存潰瘍に関する研究 22 抗血小板薬の効果に関する研究 23 脳梗塞におけるガングリオシドの神経再生への関与 24 もやもや病の画像診断に関する研究 25 脳血管障害手術の手術シミュレーションに関する研究 26 脳卒中の遠隔画像診断に関する研究 27 Bipolar forcepsの付着に関する研究

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門）	産 婦 人 科 学 講 座	1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析 2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断 3 卵巣黄体機能の研究 4 排卵障害と代謝異常に関わる遺伝子多型の関わり 5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割 6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究 7 子宮内膜症の分子生物学的検討 8 卵巣癌での薬剤耐性克服 9 婦人科癌細胞の運動能と転移能に関する研究
	小 児 科 学 講 座	1 RSウイルス感染症に関する研究 2 ロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎に関する研究 3 パルボウイルスB19感染症に関する研究 4 先天性筋緊張性ジストロフィーの遺伝子診断に関する研究 5 脊髄性筋委縮症の遺伝子診断に関する研究 6 レスバトロールを用いた筋ジストロフィー症の治療研究 7 てんかんに対する長時間ビデオ脳波モニタリングの研究 8 てんかんに対する細胞治療に関する研究 9 新しいカテーテルインターベンション法の開発 10 胎児心エコー検査による先天性心疾患の診断に関する研究 11 造血幹細胞移植に関する研究 12 造血幹細胞移植時の移植片対宿主病（GVHD）の診断と治療に関する研究 13 造血幹細胞移植時のウイルス感染症に関する研究
	眼 科 学 講 座	1 網膜変性症の病態及び治療研究 2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究 3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究 4 眼科領域におけるMR スペクトロスコピー法の開発 5 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究
	皮 膚 科 学 講 座	1 メラニン合成機構の生物学的・分子生物学的研究 2 メラニン合成関連遺伝子の構造と機能の研究 3 悪性黒色腫の進展と転移に関わる細胞遺伝子研究 4 悪性黒色腫の診断と治療に関する臨床研究 5 悪性黒色腫におけるアポトーシス関連遺伝子の発現と機能の研究 6 遺伝性皮膚疾患の遺伝子解析 7 色素性乾皮症の迅速遺伝子診断の開発 8 ウイルス性皮膚疾患の病態とイミキモドの作用機序に関する研究 9 皮膚バリア機能に関与するABCトランスポーターの解析 10 日本と海外におけるアトピー性皮膚炎の疫学研究
	泌 尿 器 科 学 講 座	1 泌尿生殖器腫瘍学 2 腫瘍免疫学 3 前立腺肥大症の疫学的研究と臨床的研究 4 排尿障害の基礎的・臨床的研究 5 尿路感染症・性感染症の疫学的研究と臨床的研究 6 尿路再生・再建医学 7 男子性機能の基礎的・臨床的研究 8 男子不妊症の成因と治療の研究 9 腎移植・移植免疫 10 性別適合手術

講 座 （ 臨 床 医 学 部 門）	耳鼻咽喉科学講座	1 高度感音難聴に対する人工内耳に関する研究 2 扁桃の免疫学的機能に関する研究 3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究 4 上気道粘膜免疫に関する研究 5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究 6 鼻アレルギーの病態に関する研究 7 頭頸部腫瘍の病態・治療法に関する研究 8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究 9 音声言語機能に関する研究 10 内耳有毛細胞再生に関する研究
	神経精神医学講座	1 リエゾン精神医学、緩和医療学、精神腫瘍学の臨床研究 2 一般救急・精神科救急における自殺関連行動患者のケア・モデル開発研究 3 認知症の神経心理、精神病理および神経画像研究 4 性同一性障害の臨床研究 5 地域精神保健研究 6 メンタルヘルス・リテラシー研究 7 自殺予防対策研究 8 職域・教育機関におけるメンタルヘルス・プロモーションに関する研究 9 精神疾患の病態に関する脳神経回路網の修復・再生機構の研究 10 神経幹細胞を用いた精神疾患の新たな治療法の開発研究 11 精神疾患のバイオマーカーに関する研究
	放射線医学講座	<IVR部門> 1 末梢動脈瘤に対する経済効果を加味した新しい塞栓術の開発 2 胆道・膵疾患における造影超音波診断能の後方視的研究 3 物理的合併症回避につながる中心静脈穿安全穿刺に関する研究 <治療部門> 1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究 2 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究 3 悪性腫瘍に対するIVR及び化学・放射線併用療法の研究 4 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究 5 DNA修復能測定による放射線治療の有害事象の予測に関する研究 6 高精度放射線治療に関する研究 7 画像誘導放射線治療に関する研究 8 放射線治療効果と腫瘍免疫に関する研究

講座 (臨床 医学 部門)	麻 酔 科 学 講 座	1 周術期の疼痛の機序解明と鎮痛薬の有効な使用の基礎・臨床研究 2 癌性疼痛や神経障害性疼痛の機序解明と臨床へのトランスレーション 3 心臓や血管平滑筋・内皮に対する麻酔薬の作用機序の解明 4 ドクターヘリの有効性の検証 5 周術期モニタリングガイド下による新たな輸血療法の開発 6 周術期における抗凝固・抗血小板薬の基礎的・臨床的検討 7 組織ミトコンドリアに対する麻酔薬の作用機序解明 8 重症筋無力症での筋弛緩拮抗薬スガマデクスの安全性の検討 9 プロポフォール注入症候群動物モデル確立と分子機序解明 10 虚血再灌流障害に対するデクスメデトミジンの心筋保護作用の解明 11 外傷性脳損傷に対する骨髄由来ミクログリアを介した新規治療戦略 12 子宮筋収縮に対する麻酔薬の影響と機序の解明 13 血管内皮グリコカリックスおよびアクアポリンをターゲットとした周術期浮腫予防法の開発 14 脳内のBACE1の分布および神経炎症によるBACE1活性化の検討 15 周術期体温管理の基礎的・臨床的検討 16 妊娠鎮痛の機序を介した神経障害性疼痛の新規治療戦略 17 椎弓板ブロックと脊柱起立筋面ブロックの臨床的有用性の比較検討 18 経カテーテル大動脈弁置換術において術前大動脈弁逆流と術後の人工弁周囲逆流が術後の左室リモデリングに与える影響 19 全身麻酔症例における声門上デバイスの頭部回旋に対する優位性の評価 20 高度BMI (Body Mass Index) を呈する患者の外科手術に対する吸入麻酔による全身麻酔後の覚醒への影響 21 腹部超音波を用いた、従来型絶食プロトコルを適用された全身麻酔下消化管定期手術施行患者の胃内容物遺残量の計測 22 硬膜外麻酔施行時におけるACCURO (アキュロ) の有効性に関する検討 23 Video glassとポータブルDVDプレイヤーを用いた小児全身麻酔症例における麻酔導入時不安への影響 24 全身麻酔後の異常興奮発症機序解明
	地 域 医 療 総 合 医 学 講 座	1 Common diseases の診断とマネジメントの研究 2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究 3 医療における心理社会倫理的側面の研究 4 医学教育に関する研究 5 地域医療に関する研究
	感 染 制 御 ・ 臨 床 検 査 医 学 講 座	1 医療関連感染に関する細菌の遺伝子型別の開発 2 生体内微量物質の高感度検出法の評価 3 天然素材を用いた免疫賦活効果の検討 4 悪性腫瘍の微量残存病変検出に関する新規検査法の開発 5 院内（細菌）スクリーニング効果の評価 6 血液培養検査の迅速報告に関する検討 7 新規超音波検査法を用いた心機能評価に関する研究 8 腎機能障害予測検査法の評価
	救 急 医 学 講 座	1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の研究 2 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の研究 3 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究 4 高度侵襲時の生体防御反応に関する研究 5 病院前救護体制に関する研究 6 航空機による救急搬送体制の研究 7 災害医療に関する研究 8 中毒薬理に関する研究

講座 (臨床 医学 部門)	口腔外科学講座	1 口腔癌に対する免疫療法の開発研究 2 口腔癌の選択的動注化学療法併用放射線療法に関する研究 3 口腔癌の臓器機能温存療法に関する研究 4 口腔癌の微小環境下における抗癌剤耐性獲得機序の解析に関する研究 5 顎顔面形態と顎機能からみた顎変形症の診断法確立 6 下歯槽神経麻痺を回避する智歯抜歯法に関する研究 7 口腔癌のバイオマーカーの探索 8 口腔癌のゲノム解析と個別化医療
	リハビリテーション 医学講座	1 最新の画像診断技術と病巣研究との融合から高次脳機能に迫る研究 2 三次元動作分析による治療効果判定に関する研究 3 慢性疼痛のメカニズム論に基づく薬物・運動療法に関する研究 4 高齢者の呼吸・嚥下の評価とリハビリテーションに関する研究 5 認知症における生活機能維持へのアプローチに関する研究 6 脳腫瘍手術例における高次脳機能と予後予測に関する研究
	形成外科学講座	1 難治性皮膚潰瘍に対する再生医療を応用した治療法の開発 2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用 3 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究 4 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究 5 顔面組織再建法の開発 6 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究

医学部附属フロンティア医学研究所	細胞科学部門	1 ヒト正常細胞を用いたヒト疾患の病態解明 2 ヒト正常細胞を用いた予防治療の基礎的研究 3 炎症・アレルギー・がんに関連する新規細胞間接着分子の同定 4 肥満によるがんの悪性化機構の解明 5 細胞表面における細胞骨格の役割と制御機構の解明 6 軸索ガイダンス分子の発現機能解析
	ゲノム医科学部門	1 ヒトがんの発生機序の解明 2 がん関連遺伝子の網羅的変異解析と個別化医療への応用 3 がんにおける細胞周期チェックポイント異常の解析 4 ヒトゲノム情報活用基盤技術の確立 5 がんゲノム解析
	組織再生学部門	1 肝幹・前駆細胞の増殖及び成熟化機序の解明 2 小型肝細胞特異的遺伝子及びそのタンパク質の機能解析 3 肝幹・前駆細胞の移植による肝細胞置換や内在性肝前駆細胞活性化機構の解明 4 胎仔及び成体肝幹・前駆細胞を用いたin vitro肝組織形成 5 細胞外基質の肝組織形成における役割 6 胆管などの肝組織構造形成を制御する分子メカニズムの解析
	分子医学部門	1 肺癌の分子病理学的研究 2 特発性肺線維症の発症・進展機構の解明 3 周皮細胞の細胞生物学的解析 4 正常末梢肺上皮幹細胞の細胞生物学的解析
	病態情報学部門	1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索 2 アルツハイマー病の診断システムの開発 3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発 4 ヒト臨床試験フィールドの構築 5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究
	神経再生医療学部門	1 幹細胞の増殖・分化に関する研究 2 幹細胞の分化制御に関する研究 3 幹細胞の癌化に関する研究 4 障害された脳や脊髄の可塑性や再生に関する研究 5 幹細胞を用いた再生治療に関する基礎的研究 6 各種脳神経疾患への臨床研究 7 細胞治療の効果判定のための新しい方法の開発研究 8 再生医療の推進のための基盤整備に関する研究 9 臨床グレードの幹細胞の供給システムの確立に関する開発研究
	免疫制御医学部門	1 濾胞ヘルパーT細胞の分化、機能調節機構の研究 2 抗原特異的な抗体産生機構の研究 3 ヒト免疫病態におけるエピイムノーム（上皮細胞と免疫細胞のクロストーク）の研究 4 ヒト免疫・アレルギー病態における機能性リンパ球サブセットの研究と臨床への応用 5 粘膜免疫ワクチン開発に向けた研究
	動物実験施設部	1 ブドウ球菌の宿主特異性に関する研究 2 ブドウ球菌のゲノム進化に関する研究 3 ブドウ球菌の薬剤耐性に関する研究 4 皮膚常在細菌叢と皮膚生理との関連 5 疾患と腸内細菌叢との関連

イ 保健医療学部

看護学 科	看護学第一講座	<基礎看護学> 1 看護倫理教育に関する研究 2 看護技術の習得過程における教授学的研究 3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究 4 看護教育・看護管理に関する歴史的研究 5 病院環境における臭気の包括的評価に関する研究 <精神看護学> 1 精神障害のある人を成員とする家族に関する研究 2 子ども虐待における看護援助に関する研究 3 精神障害を抱える人の子育てに関する研究 4 発達障害をもつ子どもの親へのペアレントトレーニング 5 認知症高齢者の精神機能に働きかけるケアの研究 <外科学> 1 消化器、乳腺領域における手術療法に関する研究 2 癌の集学的治療に関する研究
	看護学第二講座	<母性看護学／小児看護学> 1 助産師の実践に関する研究 2 母性看護学実習に関する研究 3 子育て支援に関する研究 4 リプロダクティブヘルスに関する研究 5 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究 6 小児の遊びと発達支援に関する研究 7 医療処置をうける子どもへのプレパレーションに関する研究 8 児童・生徒に対する喫煙防止教育方法の開発 9 小児看護学演習・実習に関する研究 <公衆衛生看護学> 1 保健師活動の理論と実践に関する研究 2 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究 3 地域高齢者の健康に関する研究 4 在宅療養を支えるための医療・保健福祉の連携に関する研究 <公衆衛生学> 1 社会調査の手法、統計学的方法に関する研究 2 学習・教育方略とその評価に関する研究 3 医療専門職の専門性、専門職連携に関する研究 4 高齢者の生活状況と健康に関する研究

看護学科	看護学第三講座	<在宅看護学> 1 母子保健活動における看護職の支援技術、子ども虐待における父親の特性に関する研究 2 看護大学の在宅看護分野における看護技術教育のコアカリキュラムの指導と評価 3 非がん疾患をもつ療養者と家族に対する在宅看取りに関する研究 4 在宅看護過程、在宅看護アセスメントに関する研究 <老年看護学> 1 高齢者のせん妄の発症リスクや予防ケアに関する研究 2 急性期病院における認知症高齢者への看護に関する研究 3 地域における認知症予防・早期発見および生活援助に関する研究 4 軽症脳卒中患者の退院後の生活援助に関する研究 <成人看護学> 1 急性・重症患者看護とその教育に関する研究 2 成人看護学における学習評価に関する研究 3 慢性病患者・がん患者の病いに関する研究 <内科学> 1 メタボリックシンドローム、生活習慣病に関する臨床疫学研究 2 動脈硬化進展に関する新規分子マーカーの検索 3 高血圧、糖尿病の病態生理に関する研究 4 自律神経と動脈硬化性疾患に関する研究
	理学療法学第一座 講	1 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究 2 早産低出生体重児の精身運動発達の特徴に関する研究 3 姿勢制御と歩行に関する運動学的研究 4 脳卒中中の姿勢と運動障害に関する神経生理学的研究 5 ヒトの感覚運動機能に関する神経科学的研究 6 筋の高次制御に関する神経科学的研究 7 高齢者の運動機能と健康の関係 8 高齢者の動作・運動制御に関する研究 9 炎症性疾患に伴う筋機能低下のメカニズム解明およびその治療法の開発 10 脳卒中後遺症者の移動性および転倒に関する研究
理学療法学科	理学療法学第二座 講	1 スポーツ外傷障害の予防と治療、そしてリハビリテーションに関する研究 2 筋骨格系の機能解剖学的研究 3 筋骨格系のバイオメカニクスに関する研究 4 ヒト骨格形態の進化学的研究 5 人類集団の移動と環境適応についての人類学的研究 6 四肢関節・靱帯・筋の生体力学的観察と運動療法のエビデンス解析 7 医用画像による運動器障害理学療法評価に関する研究 8 循環器疾患を対象とする運動療法効果に関する研究 9 身体運動時の骨格筋機能に関する研究 10 運動時の呼吸循環応答、及び内部障害に関する運動生理学的研究

作業療法学科	作業療法学第一座 講	1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究 2 日常生活動作に関する手指・上肢・体幹の動作解析 3 麻痺肢の運動機能解析 4 高齢障害者に対する作業療法および作業科学の研究 5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究 6 末梢神経・筋疾患に対する作業療法の評価および治療効果に関する電気生理学的研究 7 運動器疾患に対する作業療法開発のための基礎研究 8 高次脳機能障害に対する作業療法の評価および治療介入効果に関する研究 9 内部障害に対する作業療法の研究
	作業療法学第二座 講	1 発達障害の認知・心理学的特徴の解明および治療方法の確立 2 中枢神経系・精神機能の機構解明とその治療に関する研究 3 精神障害の認知特性と社会適応に関する研究 4 発達障害児における不器用さの評価および治療方法に関する研究 5 障害児・者の日常生活支援に関わる補装具の開発 6 社会的認知の臨床神経心理学的研究 7 認知症患者に対する地域支援方略に関する研究

ウ 医療人育成センター

教 養 教 育 研 究 部 門	哲 学 ・ 倫 理 学	1 医学哲学・生命倫理学研究 2 多様な人間観・生命観・死生観についての哲学的研究 3 西洋哲学の古典研究
	心 理 学	1 心理社会的ストレスの心理生理学および行動医学研究 2 心臓血管系血行力学及び自律神経調整機能無侵襲計測の開発と応用 3 血管健康マーカーの開発と応用 4 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究
	法 学 ・ 社 会 学	1 生命医学研究と法をめぐる基礎的研究 2 医療における質・安全 3 医学・医療教育における医療人類学 4 子どもの文化と医療 5 ヘルス・エスノグラフィ
	英 語	1 英語教育（医学、保健医療など） 2 認知言語学・コーパス言語学、言語類型論からみた英語研究、応用言語学 3 日本学、日米比較文化論、不正研究（盗作、盗用など）、moral education
	物 理 学	1 放射線防護と緊急被曝医療 2 国民保護のための核防護学 3 医学物理
	化 学	1 微生物に対する自然免疫と生体防御応答 2 宿主および環境因子の感知による細菌の毒性制御と感染調節 3 抗菌ペプチドおよび食細胞の機能制御法の開発 4 異所性に発現する肺コレクチンの機能
	生 物 学	1 ゲノム医療を目指した基礎的研究 2 種々の腫瘍におけるがん関連遺伝子の同定と機能解析 3 ライブセルイメージングによる免疫シナプス構築過程におけるシグナル分子動態解析 4 がん幹細胞の細胞生物学的特徴の研究 5 微小管アセチル化酵素の細胞生物学的研究 6 エキノコッカスの免疫ターゲットに関する研究
教 育 開 発 研 究 部 門	数 学 ・ 情 報 科 学	1 数理統計学 2 高精度反応時間計測システムの研究開発と臨床応用 3 タブレット等の情報通信機器の利活用と臨床応用
		1 多職種連携教育の評価方法の研究 2 医学教育評価の方法に関する研究 3 地域滞在型医療実習の評価方法に関する研究 4 地域医療人材確保に関する調査研究 5 プロフェッショナルリズム教育の評価に関する研究

エ 寄附講座

生体工学・運動器治療開発講座	1 骨切り術における三次元画像シミュレーション 2 人工関節における生体工学的研究 3 手術アプローチの開発と安全性の検証 4 人工股関節インプラントデザインの検証と開発 5 バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検討 6 特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における臨床成績 7 特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立 8 若手整形外科医の教育 9 人工股関節における金属合併症の解決策の試み
アイン・ニトリ緩和医療学推進講座	1 緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療に関する研究 2 緩和医療に携わる医療者の人材育成に関する研究 3 がん患者・家族の全人的苦痛・苦悩へのアプローチに関する研究 4 がん患者包括的アセスメントの必要性和コ・ワーカーとしての業務創出 5 地域への啓蒙と知識の還元（公開講座，学習会，セミナー開催）
再生治療推進講座	1 治験薬製造の効率化に係る技術開発 2 品質検査の確立 3 実用化のための製造方法検討 4 原料と製品の搬送条件検討及び搬送器具の開発 5 製品の安定性評価
北海道病院前・航空・災害医学講座	1 救命救急士教育方法の研究 2 メディカルコントロールについての研究 3 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究 4 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究 5 災害時医療チームの教育方法の研究 6 災害時医療体制の研究 7 高齢者救急の研究

オ 特設講座

がん疼痛緩和医療学講座	1 がん疼痛の機序解明に関する臨床および基礎研究 2 がん疼痛の制御に関連する臨床および基礎研究 3 がんおよびその治療に伴う諸症状の緩和に関する研究 4 がんおよび症状治療に伴う苦痛の軽減に関する研究 5 緩和医療医の育成と適切な地域医療への配置に関する研究
-------------	--

(9) 文部科学省補助金活用事業 (G P 関連)

(平成30年10月 1 日現在)

ア 平成 29 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材 (がんプロフェッショナル)」育成プラン

(ア)事業名：人と医を紡ぐ北海道がん医療人養成プラン

(イ)年 次：平成 29 年度～平成 33 年度

(ウ)概 要：本プログラムでは、北海道内の 4 つの医療系大学（札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学）が先進的に進めている遺伝医療、がんゲノム医療、遠隔医療、多職種連携診療の英知を結集し、道内の中核医療機関とも連携して、大学院生はもとより地域の医療機関で研修する医師やがん診療にかかわる医療従事者に高度な専門教育を提供し、地域横断的、専門職横断的、臓器（がん種）横断的な包括的がん医療を担う人材および次世代のがんゲノム治療を担う研究者を養成する。

○北海道大学、旭川医科大学、北海道医療大学と共同申請

(10) 国際交流

ア 国際医学交流

北方圏諸国やアジア諸国の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、世界標準の医学教育機関としての発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、学生が国際的な視野を身につけ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、平成11年度からカナダ・アルバータ大学語学研修への派遣、平成21年度から中国医科大学との臨床実習及び平成23年度から韓国カトリック大学との臨床実習について、相互交流を実施している。

(平成30年10月1日現在)

		フィンランド	カナダ	中国		アメリカ	韓国
協定等締結先		パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、 オウル、タンペレ、東フィンランド大学)	アルバータ大学	中国医科大学	佳木斯大学	マサチューセッツ州立大学	韓国カトリック大学
開始年度		1977	1983	1984	2008	1994	2011
現協定期限		2017. 5－ 2022. 5	2014. 4－ 2019. 4	2016. 4－ 2019. 3	2017. 4－ 2020. 3	2016. 9－ 2019. 8	2018. 5－ 2019. 5
派遣	協定人数 (年間)	1名 (1～2箇月)	2名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	派遣総数	41名	45名	46名	14名	27名	
受入	協定人数 (年間)	1名 (1～2箇月)	1名 (6週間)	1名 (15日間)	1名 (30日以内)	1名 (2週間)	
	受入総数	40名	30名	47名	7名	9名	
その他協定の概要		・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、受入大学側は宿泊施設を手配)					
学生派遣 (直近10年)			【語学研修】 20年度 9名 21年度 中止 22年度 10名 23年度 8名 24年度 8名 25年度 8名 26年度 12名 27年度 12名 28年度 12名 29年度 12名 30年度 12名	【臨床実習】 21年度 中止 22年度 2名 23年度 2名 24年度 中止 25年度 2名 26年度 2名 27年度 2名 28年度 2名 29年度 2名			【臨床実習】 23年度 2名 24年度 2名 25年度 2名 26年度 2名 27年度 2名 28年度 2名 29年度 2名

イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている（日本人、外国人の区別はない）。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。

従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・外国からの受け入れ状況（直近10年）

平成19年度15名 平成20年度13名 平成21年度7名 平成22年度5名 平成23年度6名
平成24年度3名 平成25年度6名 平成26年度3名 平成27年度5名 平成28年度5名
平成29年度3名

ウ 教員在外研究等

(平成30年3月31日現在)

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	28年度	29年度		28年度	29年度		28年度	29年度
【アジア】			【オセアニア】			【ヨーロッパ】		
インド	0	1	オーストラリア	2	1	アイルランド	2	0
インドネシア	4	1	ニュージーランド	0	0	イギリス	3	2
韓国	11	10	【北米】			イタリア	8	8
カンボジア	1	1	アメリカ合衆国	52	51	オーストリア	3	2
シンガポール	2	7	カナダ	5	6	オランダ	1	1
タイ	1	0	キューバ	0	1	スイス	2	5
台湾	1	4	【中南米】	2	0	スペイン	0	0
中国	16	8	アルゼンチン			チェコ	3	5
パングラदेश	3	2	【アフリカ】	1	0	デンマーク	2	7
フィリピン	1	0	ウガンダ	1	0	ドイツ	3	3
ベトナム	3	4	南アフリカ共和国			フィンランド	3	3
マレーシア	2	1				フランス	0	3
ミャンマー	0	1				ポルトガル	0	7
ラオス	0	1						
						合 計	138	146

エ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

- (1) 会議室（1室）、研修室（2室）
- (2) 多目的ホール（2室）
- (3) 宿泊室（シングル3室、ツイン1室）

(11) 標 本 館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。近年医療教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年4月27日－昭和49年3月31日	三 橋 公 平（解剖学第二講座教授）
昭和49年4月1日－昭和53年3月31日	八十島 信之助（法医学講座教授）
昭和53年4月1日－昭和57年3月31日	菊 地 浩 吉（病理学第一講座教授）
昭和57年4月1日－昭和61年3月31日	山 崎 英 雄（生物学教授）
昭和61年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫（病理学第二講座教授）
昭和63年4月1日－平成2年3月31日	百 々 幸 雄（解剖学第二講座教授）
平成2年4月1日－平成7年3月31日	高 橋 杏 三（解剖学第一講座教授）
平成7年4月1日－平成11年3月31日	森 田 匡 彦（法医学講座教授）
平成11年4月1日－平成16年3月31日	佐 藤 昇 志（病理学第一講座教授）
平成16年4月1日－平成18年3月31日	澤 田 典 均（病理学第二講座教授）
平成18年4月1日－平成22年3月31日	辰 巳 治 之（解剖学第一講座教授）
平成22年4月1日－平成25年3月31日	松 本 博 志（法医学講座教授）
平成25年4月1日－平成28年3月31日	藤 宮 峯 子（解剖学第二講座教授）
平成28年4月1日－平成30年3月31日	一 宮 慎 吾（ フロンティア 医学研究所 免疫制御医学部門教授）
平成30年4月1日－現在	松 村 博 文（理学療法学科理学療法第二講座教授）

イ 概況

（平成30年10月1日現在）

資料分類		点数
肉眼標本	液浸標本 樹脂包埋標本 シリコン含浸標本 鋳型標本 乾燥標本 剥製標本	1,397
模型	人体解剖模型 化石人骨模型 ムラージュ 動物模型	168
光顕用スライド 投影用スライド 大切片標本	人体組織 病理組織 動物組織 胎児連続切片	42,127
医療機器・医療器具	手術器具・内視鏡・ペースメーカー・ 検眼鏡・顕微鏡の変遷他	536
視聴覚資料	ビデオ・DVD他	156
図書類	古医書・一般医学関係書 臨床X線写真診断学体系	1,073
他の医学関係資料	パネル・写真・葉袋 大学関係資料他	730
合 計		46,187

ウ 利用状況

（平成29年度 単位：人）

利用の内訳	標本見学	視聴覚学習	自習コーナー （顕微鏡・情報機器）
学内者	398	2	164
学外者	2,591	1,873	201
計	2,989	1,873	365

（総入館者数：3,046人）

2 学事事項

(1) 学生に関する事項

ア 年度別志願者及び入学者数

年 度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	志願者数	入学者数	志願者倍率	
	A	B	$\frac{A}{B}$	C	D	$\frac{C}{D}$	E	F	$\frac{E}{F}$	G	H	$\frac{G}{H}$	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										昭和30年度から進学課程教育を北大に委託した
昭和31年度	401	66	6.08										
昭和32年度		65											昭和32年度から北大への委託生が進学した
昭和33年度		59		951	66	14.41							昭和33年度に進学課程が設置された
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和34年度で北大への委託を修了した
昭和35年度				995	68	14.63							
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							昭和54年度から進学課程及び専門課程が廃止され6年間一貫教育体制となった
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							
昭和54年度							483	100	4.83				昭和54年度から大学入学者の選抜は、共通第1次学力試験と札幌医科大学の第2次学力試験により行われた
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				
昭和62年度							729	105	6.94				昭和62年度から国公立大学の受験機会の複数化が実施された
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				平成2年度から大学入試センター試験実施
平成2年度							589	100	5.89				
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	平成5年度に保健医療学部が設置された
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	平成9年度から入学者選抜の方法が分離分割方式となり、受験機会が複数化された
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							689	100	6.89	450	99	4.55	
平成19年度							713	101	7.06	342	99	3.45	
平成20年度							535	106	5.05	379	94	4.03	
平成21年度							532	110	4.84	348	93	3.74	
平成22年度							492	110	4.47	186	91	2.04	
平成23年度							576	110	5.24	188	90	2.09	
平成24年度							565	110	5.14	249	90	2.77	
平成25年度							591	110	5.37	199	90	2.21	
平成26年度							565	110	5.14	181	90	2.01	
平成27年度							544	110	4.95	174	90	1.93	
平成28年度							343	110	3.12	201	90	2.23	
平成29年度							456	110	4.15	181	91	1.99	
平成30年度							458	110	4.16	167	90	1.86	

イ 定員及び現員数

(平成30年5月1日現在 単位：人)

学年 学部		入学 定員	1 年 年			2 年 年			3 年 年			4 年 年			5 年 年			6 年 年			計	
			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員			現 員	
医学部	医 学 科	110	113 (38)			118 (36)			113 (35)			105 (36)			114 (35)			104 (31)			667 (211)	
保健医療学部	看 護 学 科	50	50 (47)			52 (47)			48 (45)			50 (46)									200 (185)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		50 (47)			52 (47)			48 (45)			50 (46)									200 (185)	
	理 学 療 法 学 科	20	20 (8)			21 (10)			19 (7)			21 (6)									81 (31)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		20 (8)			21 (10)			19 (7)			21 (6)									81 (31)	
	作 業 療 法 学 科	20	20 (13)			20 (14)			20 (15)			21 (17)									81 (59)	
	編 入 学 生 数		0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	計		20 (13)			20 (14)			20 (15)			21 (17)									81 (59)	
	編 入 学 生 総 計	90	0 (0)			0 (0)			0 (0)			0 (0)									0 (0)	
	小 計		90 (68)			93 (71)			87 (67)			92 (69)									362 (275)	
学 部 合 計		200	203 (106)			211 (107)			200 (102)			197 (105)			114 (35)			104 (31)			1,029 (486)	
医学研究科	博 士 課 程	50	30 (8)			40 (7)			38 (5)			41 (6)			0 0			0 0			149 (26)	
	地域医療人間 総合医 学	18	13 (3)			15 (2)			15 (1)			14 (1)									57 (7)	
	分子・器官 制御 医 学	20	10 (4)			15 (4)			16 (3)			19 (2)									60 (13)	
	情 報 伝 達 制御 医 学	12	7 (1)			10 (1)			7 (1)			8 (3)									32 (6)	
	修 士 課 程	10	7 (5)			8 (5)															15 (10)	
	医 科 学	10	7 (5)			8 (5)															15 (10)	
	小 計	60	37 (13)			48 (12)			38 (5)			41 (6)			0 (0)			0 (0)			164 (36)	
	保 健 医 療 学 部	博士課程前期	12 7 (5)			13 (12)			()												20 (17)	
保健医療学研究科	看 護 学	博士課程後期	2 ()			()			7 (6)												7 (6)	
	理学療法・	博士課程前期	12 7 (0)			5 (4)			()												12 (4)	
	作業療法学	博士課程後期	6 4 (1)			3 (0)			14 (3)												21 (4)	
	小 計	32	18 (6)			21 (16)			21 (9)			0 (0)			0 (0)			0 (0)			60 (31)	
大 学 院 合 計		92	55 (19)			69 (28)			59 (14)			41 (6)			0 (0)			0 (0)			224 (67)	
助 産 学 専 攻 科		20	19 (19)																		19 (19)	
総 合 計		312	277 (144)			280 (135)			259 (116)			238 (111)			114 (35)			104 (31)			1,272 (572)	

※ () 内は女子学生数 (内数)

ウ 出身地別現員数

(平成30年5月1日現在)

学年 課 程		1 年			2 年			3 年			4 年		
		出身地 道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医 学 部	人	94	19	113	93	25	118	94	19	113	83	22	105
	%	83.2	16.8	100.0	78.8	21.2	100.0	83.2	16.8	100.0	79.0	21.0	100.0
保 健 医 療 学 部	人	90	1	91	90	2	92	85	3	88	89	2	91
	%	98.9	1.1	100.0	97.8	2.2	100.0	96.6	3.4	100.0	97.8	2.2	100.0
医 学 研 究 科	人	34	3	37	39	9	48	38	10	48	31	10	41
	%	91.9	8.1	100.0	81.3	18.8	100.0	79.2	20.8	100.0	75.6	24.4	100.0
保 健 医 療 学 部	人	17	1	18	16	5	21	17	4	21			
研 究 科	%	94.4	5.6	100.0	76.2	23.8	100.0	81.0	19.0	100.0			
助 産 学 専 攻 科	人	18	1	19									
	%	94.7	5.3	100.0									
計	人	253	25	278	238	41	279	234	36	270	203	34	237
	%	91.0	9.0	100.0	85.3	14.7	100.0	86.7	13.3	100.0	85.7	14.3	100.0

学年 課 程		5 年			6 年			道内 計	道外 計	合計
		出身地	道内	道外	小計	道内	道外			
医 学 部	人	82	32	114	65	39	104	511	156	667
	%	71.9	28.1	100.0	62.5	37.5	100.0	76.6	23.4	100.0
保 健 医 療 学 部	人							354	8	362
	%							97.8	2.2	100.0
医 学 研 究 科	人							142	32	174
	%							81.6	18.4	100.0
保 健 医 療 学 部	人							50	10	60
研 究 科	%							83.3	16.7	100.0
助 産 学 専 攻 科	人							18	1	19
	%							94.7	5.3	100.0
計	人	82	32	114	65	39	104	1,075	207	1,282
	%	71.9	28.1	100.0	62.5	37.5	100.0	83.9	16.1	100.0

(2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

卒業年次	卒業生	出身地		卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外
昭和29年(第1回)	36	22	14	平成6年(第41回)	99	79	20
昭和30年(第2回)	41	35	6	平成7年(第42回)	91	70	21
昭和31年(第3回)	47	41	6	平成8年(第43回)	100	74	26
昭和32年(第4回)	66	58	8	平成9年(第44回)	101	74	27
昭和33年(第5回)	69	60	9	平成10年(第45回)	100	66	34
昭和34年(第6回)	58	49	9	平成11年(第46回)	102	80	22
昭和35年(第7回)	67	54	13	平成12年(第47回)	100	58	42
昭和36年(第8回)	62	54	8	平成13年(第48回)	109	60	49
昭和37年(第9回)	59	35	24	平成14年(第49回)	99	58	41
昭和38年(第10回)	59	32	27	平成15年(第50回)	94	62	32
昭和39年(第11回)	63	54	9	平成16年(第51回)	101	74	27
昭和40年(第12回)	65	58	7	平成17年(第52回)	103	72	31
昭和41年(第13回)	66	54	12	平成18年(第53回)	95	60	35
昭和42年(第14回)	62	58	4	平成19年(第54回)	103	67	36
昭和43年(第15回)	62	58	4	平成20年(第55回)	103	73	30
昭和44年(第16回)	80	71	9	平成21年(第56回)	100	62	38
昭和45年(第17回)	74	63	11	平成22年(第57回)	97	75	22
昭和46年(第18回)	78	63	15	平成23年(第58回)	101	76	25
昭和47年(第19回)	73	60	13	平成24年(第59回)	100	75	25
昭和48年(第20回)	69	55	14	平成25年(第60回)	98	69	29
昭和49年(第21回)	84	74	10	平成26年(第61回)	103	74	29
昭和50年(第22回)	77	57	20	平成27年(第62回)	104	72	32
昭和51年(第23回)	65	54	11	平成28年(第63回)	99	63	36
昭和52年(第24回)	80	62	18	平成29年(第64回)	118	80	38
昭和53年(第25回)	92	74	18	平成30年(第65回)	109	63	46
昭和54年(第26回)	90	81	9				
昭和55年(第27回)	94	84	10				
昭和56年(第28回)	95	81	14				
昭和57年(第29回)	95	84	11				
昭和58年(第30回)	107	96	11				
昭和59年(第31回)	99	87	12				
昭和60年(第32回)	94	90	4				
昭和61年(第33回)	97	90	7				
昭和62年(第34回)	86	75	11				
昭和63年(第35回)	89	79	10				
平成元年(第36回)	116	96	20				
平成2年(第37回)	92	79	13				
平成3年(第38回)	101	85	16				
平成4年(第39回)	99	84	15				
平成5年(第40回)	107	87	20				
合 計					5,644	4,369	1,275

イ 保健医療学部

(単位：人)

卒業年次	区 分 看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道 内	道 外
平成 9 年 (第 1 回)	48	21	19	88	76	12
	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 10 年 (第 2 回)	51	25	22	98	72	26
	(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成 11 年 (第 3 回)	61	21	20	102	71	31
	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 12 年 (第 4 回)	54	23	23	100	78	22
	(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成 13 年 (第 5 回)	58	22	24	104	79	25
	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 14 年 (第 6 回)	54	24	21	99	76	23
	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成 15 年 (第 7 回)	57	27	24	108	93	15
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 16 年 (第 8 回)	53	23	21	97	83	14
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 17 年 (第 9 回)	52	21	23	96	83	13
	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 18 年 (第 10 回)	49	30	21	100	85	15
	(4)	(1)	(2)	(7)	(5)	(2)
平成 19 年 (第 11 回)	56	23	23	102	91	11
	(1)	(1)	(0)	(2)	(2)	(0)
平成 20 年 (第 12 回)	49	22	21	92	82	10
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 21 年 (第 13 回)	52	18	19	89	84	5
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 22 年 (第 14 回)	55	23	22	100	89	11
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 23 年 (第 15 回)	52	21	23	96	93	3
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 24 年 (第 16 回)	50	21	21	92	86	6
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 25 年 (第 17 回)	49	18	20	87	80	7
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 26 年 (第 18 回)	47	20	22	89	87	2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 27 年 (第 19 回)	48	19	19	86	82	4
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 28 年 (第 20 回)	50	21	17	88	85	3
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 29 年 (第 21 回)	49	18	20	87	82	5
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
平成 30 年 (第 22 回)	49	17	20	87	84	2
	(57)	(21)	(16)	(94)	(77)	(17)
合 計	1,143	478	465	2,087	1,821	265

※ 1 出身地は学位記記載の本籍地による ※ 2 () 内は編入学生数 (内数)

(3) 国家試験合格状況

ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 98 回 (平成 16 年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第 99 回 (平成 17 年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第 100 回 (平成 18 年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0
第 101 回 (平成 19 年)	103	102	97	95.1	1	1	100.0	103	98	95.1
第 102 回 (平成 20 年)	103	103	99	96.1	6	4	66.7	109	103	94.5
第 103 回 (平成 21 年)	100	100	98	98.0	6	4	66.7	106	102	96.2
第 104 回 (平成 22 年)	97	97	91	93.8	4	4	100.0	101	95	94.1
第 105 回 (平成 23 年)	101	101	98	97.0	3	2	66.7	104	100	96.2
第 106 回 (平成 24 年)	100	100	92	92.0	7	5	71.4	107	97	90.7
第 107 回 (平成 25 年)	98	98	92	93.9	10	8	80.0	108	100	92.6
第 108 回 (平成 26 年)	103	103	102	99.0	8	4	50.0	111	106	95.5
第 109 回 (平成 27 年)	104	104	102	98.1	4	1	25.0	108	103	95.4
第 110 回 (平成 28 年)	99	99	96	97.0	5	4	80.0	104	100	96.2
第 111 回 (平成 29 年)	118	117	107	91.5	4	4	100.0	121	111	91.7
第 112 回 (平成 30 年)	109	109	102	93.6	10	9	90.0	119	111	93.3

イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 93 回 (平成 16 年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第 94 回 (平成 17 年)	47	47	47	100.0	0	0	—	47	47	100.0
第 95 回 (平成 18 年)	45	45	45	100.0	0	0	—	45	45	100.0
第 96 回 (平成 19 年)	52	52	52	100.0	0	0	—	52	52	100.0
第 97 回 (平成 20 年)	49	48	48	100.0	0	0	—	48	48	100.0
第 98 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	0	0	—	52	52	100.0
第 99 回 (平成 22 年)	55	55	55	100.0	0	0	—	55	55	100.0
第 100 回 (平成 23 年)	52	52	52	100.0	0	0	—	52	52	100.0
第 101 回 (平成 24 年)	50	50	50	100.0	0	0	—	50	50	100.0
第 102 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	—	49	49	100.0
第 103 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	—	47	47	100.0
第 104 回 (平成 27 年)	48	48	48	100.0	0	0	—	48	48	100.0
第 105 回 (平成 28 年)	50	50	50	100.0	0	0	—	50	50	100.0
第 106 回 (平成 29 年)	49	49	49	100.0	0	0	—	49	49	100.0
第 107 回 (平成 30 年)	49	49	49	100.0	0	0	—	49	49	100.0

ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第 90 回 (平成 16 年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第 91 回 (平成 17 年)	52	50	46	92.0	0	0	—	50	46	92.0
第 92 回 (平成 18 年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0
第 93 回 (平成 19 年)	56	55	55	100.0	2	2	100.0	57	57	100.0
第 94 回 (平成 20 年)	49	47	46	97.9	0	0	—	47	46	97.9
第 95 回 (平成 21 年)	52	52	52	100.0	1	1	100.0	53	53	100.0
第 96 回 (平成 22 年)	55	55	54	98.2	0	0	—	55	54	98.2
第 97 回 (平成 23 年)	52	51	50	98.0	0	0	—	51	50	98.0
第 98 回 (平成 24 年)	50	50	49	98.0	2	1	50.0	52	50	96.2
第 99 回 (平成 25 年)	49	49	49	100.0	0	0	—	49	49	100.0
第 100 回 (平成 26 年)	47	47	47	100.0	0	0	—	47	47	100.0
第 101 回 (平成 27 年)	48	48	48	100.0	0	0	—	48	48	100.0
第 102 回 (平成 28 年)	12	12	12	100.0	0	0	—	12	12	100.0
第 103 回 (平成 29 年)	9	9	9	100.0	0	0	—	9	9	100.0
第 104 回 (平成 30 年)	11	11	10	90.9	0	0	—	11	10	90.9

工 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	23	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	19	19	17	89.5	0	0	-	19	17	89.5
第41回（平成18年）	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7
第42回（平成19年）	22	22	22	100.0	1	1	100.0	23	23	100.0
第43回（平成20年）	22	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第44回（平成21年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第45回（平成22年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第46回（平成23年）	21	21	20	95.2	0	0	-	21	20	95.2
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第49回（平成26年）	20	20	19	95.0	0	0	-	20	19	95.0
第50回（平成27年）	19	19	19	100.0	1	0	0.0	20	19	95.0
第51回（平成28年）	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第52回（平成29年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第53回（平成30年）	17	17	17	100.0	0	0	-	17	17	100.0

才 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第39回（平成16年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第40回（平成17年）	23	23	23	100.0	0	0	-	23	23	100.0
第41回（平成18年）	21	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第42回（平成19年）	21	21	21	100.0	0	0	-	21	21	100.0
第43回（平成20年）	21	21	19	90.5	0	0	-	21	19	90.5
第44回（平成21年）	19	19	17	89.5	2	2	100.0	21	19	90.5
第45回（平成22年）	22	22	22	100.0	2	1	50.0	24	23	95.8
第46回（平成23年）	23	23	22	95.7	1	0	0.0	24	22	91.7
第47回（平成24年）	21	21	21	100.0	1	1	100.0	22	22	100.0
第48回（平成25年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第49回（平成26年）	22	22	22	100.0	0	0	-	22	22	100.0
第50回（平成27年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第51回（平成28年）	17	17	16	94.1	0	0	-	17	16	94.1
第52回（平成29年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第53回（平成30年）	20	20	19	95.0	0	0	-	20	20	100.0

力 助産師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第96回（平成25年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第97回（平成26年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第98回（平成27年）	20	20	20	100.0	0	0	-	20	20	100.0
第99回（平成28年）	19	19	19	100.0	0	0	-	19	19	100.0
第100回（平成29年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0
第101回（平成30年）	18	18	18	100.0	0	0	-	18	18	100.0

(4) 研究生数

(平成30年5月1日現在 単位：人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究外業務従事の許可を受けている者
医学部基礎医学部門	解剖学第一	2		医学部臨床部門	消化器内科学	5	3
	解剖学第二				循環器・腎臓・代謝内分泌内科学	33	21
	細胞生理学				呼吸器・アレルギー内科学	4	1
	神経科学				腫瘍内科学	1	
	化学				神経内科学	7	4
	分子生物学				消化器・総合・乳腺・内分泌外科学		
	病理学第一	1			心臓血管外科学		
	病理学第二				整形外科学		
	微生物学				脳神経外科学		
	薬理学				産婦人科学		
医学部附属フロンティア医学研究所	衛生学			医学部臨床部門	小児科学	18	11
	公衆衛生学	2			眼科学		
	法医学				皮膚科学	1	
	医学部基礎医学部門計	5	0		泌尿器科学		
	細胞科学部門				耳鼻咽喉科学	3	
	ゲノム医科学部門				神経精神医学		
	組織再生学部門	1			放射線医学		
	分子医学部門				麻酔科学		
	病態情報学部門				地域医療総合医学	1	1
	神経再生医療学部門				感染制御・臨床検査医学		
医学部基礎医学部門	免疫制御医学部門				救急医学	2	2
	医学部附属フロンティア医学研究所計	1	0		口腔外科学	5	4
	医学部教育研究機器センター計	0	0		リハビリテーション医学		
	医学部動物実験施設部計	0	0		形成外科学	1	1
	先端医療知財学				医学部臨床医学部門計	81	48
	遺伝医学	1		医学部計		94	49
	医学部学科目(基礎医学部門)計	1	0	保健医療学部	看護学		
	産科周産期科学				理学療法学		
	医療薬学				作業療法学		
	病理診断学	4	1		保健医療学部計	0	0
	放射線診断学	2			医療人育成センター計	0	0
	病院管理学				附属総合情報センター計	0	0
	集中治療医学				合計	94	49
	呼吸器外科学						
	血液内科学						
	免疫・リウマチ内科学						
医学部臨床部門	医学部学科目(臨床医学部門)計	6	1				

(5) 修士及び博士（医学）の学位授与者数

区分 年度	専攻	本学大学院修了者（博士課程）										一般論文提出者	合計
		修士課程											
		医学	生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	総合医科学	地域医療人文学	御分子・器官学	制御情報医学		
昭和34年度～平成12年度		49	81	16	228	297					671	1,325	1,996
平成13年度		1			11	16					28	48	76
平成14年度		3	2		11	16					32	37	69
平成15年度			3		11	18					32	43	75
平成16年度					1	2	14	26	4	47	43	90	
平成17年度							17	33	2	52	19	71	
平成18年度					1		13	19	17	50	17	67	
平成19年度							4	11	5	20	30	50	
平成20年度							10	16	5	31	21	52	
平成21年度	7						10	11	7	28	17	52	
平成22年度	8						11	12	7	30	4	42	
平成23年度	9						8	22	6	36	17	62	
平成24年度	8						8	29	8	45	8	61	
平成25年度	5						13	15	12	40	5	50	
平成26年度	1						15	19	6	40	13	54	
平成27年度	5						17	22	8	47	10	62	
平成28年度	8						18	26	8	52	15	75	
平成29年度	3						17	26	9	52	13	68	
計		54	53	86	16	263	349	175	287	104	1,333	1,685	3,072

(6) 修士及び博士（保健医療学）の学位授与者数

年度	区 分	本 学 大 学 院 修 了 者						提 一 般 出 論 者 文	合 計
		修 士 課 程			博 士 課 程				
	専 攻	看護学	理学療法学・作業療法学		看護学	理学療法学・作業療法学			
	学 位	看護学	理学療法学	作業療法学	看護学	理学療法学	作業療法学		
平成 11 年 度		9	6	3				0	18
平成 12 年 度		6	4	3				0	13
平成 13 年 度		4	5	5				0	14
平成 14 年 度		8	8	3		1	3	0	23
平成 15 年 度		6	2	3		2	1	0	14
平成 16 年 度		6	6	7		1	1	0	21
平成 17 年 度		7	7	4		4	1	0	23
平成 18 年 度		5	7	3		2	4	0	21
平成 19 年 度		7	9	3		3	2	0	24
平成 20 年 度		8	3	7	2		1	0	21
平成 21 年 度		4	7	3	0	1	3	0	18
平成 22 年 度		3	8	6	1	3	3	0	24
平成 23 年 度		4	8	3	1	2	1	1	20
平成 24 年 度		5	8	3		3			19
平成 25 年 度		3	8	3	1	4	3	0	22
平成 26 年 度		9	7	1		2	1	1	21
平成 27 年 度		6	11	0	1	1	3	0	22
平成 28 年 度		2	5	3	0	3	1	0	14
平成 29 年 度		6	8	3	1	0	0	1	19
計		108	127	66	7	32	28	3	371

3 附 属 病 院

(1) 沿 革

昭和7年3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年4月1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年4月1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）竣工
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事竣工
昭和32年3月31日	放射線病棟建築工事竣工
昭和33年7月1日	産婦人科その他の病棟前期工事竣工
昭和34年2月1日	産婦人科その他の病棟後期工事竣工
昭和35年1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事竣工
昭和37年3月31日	新外来棟建築第1期工事竣工
昭和37年6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事竣工
昭和37年7月11日	臨床講堂新築
昭和38年7月15日	南棟新築第1期工事竣工
昭和39年8月3日	南棟新築第2期工事竣工
昭和39年12月1日	中央棟第2期工事竣工
昭和45年2月1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月1日	放射線管理室設置
昭和54年5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年4月1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年7月2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）竣工
昭和58年8月1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年9月6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年7月1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）竣工
昭和61年4月1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成4年4月1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成5年4月1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成8年3月27日	エイズ拠点病院、ブロック拠点病院に選定
平成8年4月1日	特定機能病院承認
平成9年1月7日	災害拠点病院、基幹災害医療センター指定
平成10年4月1日	総合診療科を新設
平成14年4月1日	救命救急センターを設置
平成14年10月1日	高度救命救急センターを設置
平成15年9月1日	北海道リハビリテーション支援センター指定
平成16年4月1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年2月1日	NICUを設置
平成19年4月1日	北海道公立大学法人へ移行
平成21年4月1日	がん診療連携拠点病院指定
平成21年8月24日	肝疾患診療連携拠点病院指定
平成21年9月27日	「病院機能評価」認定
平成23年3月30日	地域周産期母子医療センター認定
平成23年4月1日	神経再生医療科を新設し、放射線科を放射線治療科及び放射線診断科に改正
平成24年9月1日	第二外科を心臓血管外科及び呼吸器外科に改正
平成25年4月1日	医療連携・総合相談センターを設置
平成25年11月1日	臨床遺伝外来を設置

平成26年4月1日	看護キャリア支援センターを設置
平成26年9月27日	「病院機能評価」認定
平成27年4月1日	医療連携・総合相談センター及び医事センターを再編し、医事相談センター、医療連携センター、栄養管理センターを設置 第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科に、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科に、第三内科を呼吸器・アレルギー内科に、第四内科を腫瘍・血液内科に、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更
平成29年3月30日	原子力災害拠点病院指定
平成29年4月1日	医事相談センターと医療連携センターを再編し、医療連携福祉センターを設置
平成30年4月1日	医療情報部、臨床研究支援センターを設置
平成30年8月1日	附属病院神経内科を脳神経内科に名称変更、附属病院遺伝子診療科を設置

(2) 歴代病院長

昭和25年4月1日	—	昭和35年3月31日	瀧 本 庄 蔵
昭和35年4月1日	—	昭和39年3月31日	南 浦 邦 夫
昭和39年4月1日	—	昭和41年3月31日	高 山 坦 三
昭和41年4月1日	—	昭和45年3月31日	末 吉 利 三
昭和45年4月1日	—	昭和49年3月31日	浜 谷 松 夫
昭和49年4月1日	—	昭和51年3月31日	立 野 誠 吾
昭和51年4月1日	—	昭和53年3月31日	橋 場 輝 芳
昭和53年4月1日	—	昭和55年2月8日	河 邨 文一郎
昭和55年2月9日	—	昭和55年2月29日	(事務代理) 神 村 瑞 夫
昭和55年3月1日	—	昭和57年3月31日	神 村 瑞 夫
昭和57年4月1日	—	昭和61年2月8日	漆 崎 一 朗
昭和61年2月9日	—	昭和61年2月28日	(事務代理) 熊 本 悦 明
昭和61年3月1日	—	平成2年2月28日	小 松 作 蔵
平成2年3月1日	—	平成4年2月8日	谷 内 昭
平成4年2月9日	—	平成4年2月29日	(事務取扱) 谷 内 昭
平成4年3月1日	—	平成8年2月29日	飯 村 攻
平成8年3月1日	—	平成10年2月28日	形 浦 昭 克
平成10年3月1日	—	平成12年2月29日	千 葉 峻 三
平成12年3月1日	—	平成14年2月28日	工 藤 隆 一
平成14年3月1日	—	平成16年2月29日	並 木 昭 義
平成16年3月1日	—	平成20年3月31日	島 本 和 明
平成20年4月1日	—	平成24年3月31日	塚 本 泰 司
平成24年4月1日	—	平成26年3月31日	平 田 公 一
平成26年4月1日	—	平成30年3月31日	山 下 敏 彦
平成30年4月1日	—	現 在	土 橋 和 文

(3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消化器・免疫・リウマチ内科※1		32,550	29,083	29,673	15,987	15,735	16,862
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1		42,648	37,401	35,351	17,753	17,044	16,759
呼吸器・アレルギー内科※1		14,237	14,453	14,917	14,080	14,286	13,897
腫瘍・血液内科※1		21,185	22,648	23,287	22,860	24,476	24,133
神経内科		10,111	9,654	9,614	10,732	10,384	10,894
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1		14,681	15,835	16,658	17,469	18,954	19,950
心臓血管外科		4,118	4,065	3,867	8,251	7,914	7,127
呼吸器外科		1,863	2,042	2,230	4,402	5,024	4,542
整形外科		31,673	31,072	30,643	19,312	20,086	18,797
脳神経外科		8,894	8,588	8,457	13,778	13,429	13,293
婦人科		22,335	20,848	20,834	16,602	16,224	15,239
産科周産期科		5,154	4,711	5,615	12,342	11,471	11,967
小児科		16,170	15,428	14,795	11,145	11,392	10,299
眼科		26,149	23,191	23,917	12,172	11,754	11,474
皮膚科		27,904	26,345	25,557	9,591	9,537	9,083
形成外科		8,095	7,013	7,397	7,453	6,487	7,212
泌尿器科		19,935	20,096	20,564	11,318	10,940	10,477
耳鼻咽喉科		24,860	23,911	24,525	12,800	11,898	11,306
神経精神科		25,114	21,111	20,349	11,130	10,693	10,365
放射線治療科		19,772	20,030	18,502	12,715	10,198	8,890
放射線診断科		2,785	3,117	3,061	0	0	0
麻酔科		9,716	8,891	7,127	962	784	760
総合診療科		5,992	6,592	6,464	0	0	0
歯科口腔外科		23,159	22,979	23,297	9,705	9,400	9,637
リハビリテーション科		47,684	50,123	48,536	6,170	5,867	5,083
神経再生医療科		261	235	281	1,117	514	235
臨床遺伝外来※2		187	229	364	—	—	—
高度救命救急センター		1,379	1,587	1,622	6,384	6,339	6,576
集中治療部(再掲)※3		0	0	0	1,829	1,862	1,693
計		440,904	421,742	418,037	286,230	280,830	274,857

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外来部門			入院部門		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消化器・免疫・リウマチ内科※1		134.0	119.7	121.6	43.7	43.1	46.2
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1		175.5	153.9	144.9	48.5	46.7	45.9
呼吸器・アレルギー内科※1		58.6	59.5	61.1	38.5	39.1	38.1
腫瘍・血液内科※1		87.2	93.2	95.4	62.5	67.1	66.1
神経内科		41.6	39.7	39.4	29.3	28.4	29.8
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1		60.4	65.2	68.3	47.7	51.9	54.7
心臓血管外科		16.9	16.7	15.8	22.5	21.7	19.5
呼吸器外科		7.7	8.4	9.1	12.0	13.8	12.4
整形外科		130.3	127.9	125.6	52.8	55.0	51.5
脳神経外科		36.6	35.3	34.7	37.6	36.8	36.4
婦人科		91.9	85.8	85.4	45.4	44.4	41.8
産科周産期科		21.2	19.4	23.0	33.7	31.4	32.8
小児科		66.5	63.5	60.6	30.5	31.2	28.2
眼科		107.6	95.4	98.0	33.3	32.2	31.4
皮膚科		114.8	108.4	104.7	26.2	26.1	24.9
形成外科		33.3	28.9	30.3	20.4	17.8	19.8
泌尿器科		82.0	82.7	84.3	30.9	30.0	28.7
耳鼻咽喉科		102.3	98.4	100.5	35.0	32.6	31.0
神経精神科		103.3	86.9	83.4	30.4	29.3	28.4
放射線治療科		81.4	82.4	75.8	34.7	27.9	24.4
放射線診断科		11.5	12.8	12.5	0.0	0.0	0.0
麻酔科		40.0	36.6	29.2	2.6	2.1	2.1
総合診療科		24.7	27.1	26.5	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外科		95.3	94.6	95.5	26.5	25.8	26.4
リハビリテーション科		196.2	206.3	198.9	16.9	16.1	13.9
神経再生医療科		1.1	1.0	1.2	3.1	1.4	0.6
臨床遺伝外来※2		0.8	0.9	1.5	—	—	—
高度救命救急センター		5.7	6.5	6.6	17.4	17.4	18.0
集中治療部(再掲)※3		0.0	0.0	0.0	5.0	5.1	4.6
計		1,814.4	1,735.6	1,713.3	782.0	769.4	753.0

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

※2 平成25年11月に臨床遺伝外来を開設

※3 集中治療部の患者は他の診療科等の患者としても算出されていることから、再掲とし、合計数には含めない。

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位：患者数、枚数)

区 分	年 度	平 成 27 年 度			平 成 28 年 度			平 成 29 年 度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単 純 撮 影	32,850	39,913	72,763	33,249	39,495	72,744	32,890	37,823	70,713
	断 層 撮 影			0			0			0
	造 影 検 査	2,515	705	3,220	2,532	652	3,184	2,868	794	3,662
	血 管 造 影	2,049	199	2,248	1,957	153	2,110	2,400	117	2,517
	乳 腺 撮 影	83	2,293	2,376	84	2,433	2,517	101	2,560	2,661
	骨 塩 検 査	155	1,155	1,310	295	1,496	1,791	441	1,598	2,039
	C T 検 査	9,589	15,142	24,731	9,756	15,032	24,788	10,578	16,107	26,685
	M R 検 査	3,545	8,572	12,117	3,792	8,988	12,780	4,058	9,516	13,574
	R I 検 査	988	1,022	2,010	829	1,327	2,156	1,544	1,229	2,773
	P E T / C T	73	1,255	1,328	315	1,164	1,479	132	1,389	1,521
	画 像 出 力	2,676	8,708	11,384	1,991	9,271	11,262	3,224	9,880	13,104
画像出力枚数	放 射 線 治 療	12,825	6,596	19,421	11,033	7,993	19,026	10,721	5,850	16,571
	合 計	67,348	85,560	152,908	65,833	88,004	153,837	68,957	86,863	155,820
	半 切			68	23	73	96	21	28	49
	B 4			11	0	6	6	0	0	0
	乳 腺 用			0			0	0	0	0
	C D / D V D			4,752	2,151	2,635	4,786	2,296	2,803	5,099
	合 計			4,831	2,174	2,714	4,888	2,317	2,831	5,148

※ 平成17年5月から、フィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルム画像情報の提供は、原則CD又はDVDで行っている。

イ 検査部・病理部・内視鏡センター検査件数

区 分	年 度	平 成 27 年 度		平 成 28 年 度		平 成 29 年 度	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数
	血 液 検 査	317,215	10,268,618	294,466	9,835,340	511,836	17,529,113
	緊 急 検 査	1,059,168	23,774,288	1,032,819	20,946,931	(1,050,173)	(21,502,884)
	尿 検 査	108,323	3,030,908	99,114	2,770,517	112,057	3,139,547
	輸 血 検 査	72,122	2,837,933	74,382	3,024,553	74,178	2,879,135
	細 菌 検 査	73,275	9,951,489	80,700	10,633,625	77,774	10,340,863
	生 化 学 検 査	2,345,686	48,083,612	2,360,494	50,479,171	3,262,855	68,703,029
	血 清 検 査	99,636	12,590,846	116,879	16,078,104	119,734	16,367,555
	遺 伝 子 検 査	6,849	3,288,374	344	905,939	447	1,156,176
	生 理 機 能 検 査	48,002	12,827,025	49,058	13,139,175	49,347	12,826,330
	検 体 検 査 管 理 加 算 料	480,878	59,451,628	467,397	58,340,423	480,515	59,911,414
	迅 速 検 査 管 理 加 算 料	267,298	2,672,980	268,163	2,681,630	281,196	2,811,960
	健 診 協 力	6,189		3,430		698	
	感 染 対 策 お よ び 研 究 協 力 等	529		457		1,090	
	検 査 部 合 計	4,885,170	188,777,701	4,847,703	188,835,408	4,971,727	195,665,122
	病 理 検 査	22,857	14,183,180	25,043	16,209,270	22,240	13,693,690
	病 理 診 断 料	9,446	5,755,240	9,922	6,091,620	9,787	5,995,660
	病 理 部 合 計	32,303	19,938,420	34,965	22,300,890	32,027	19,689,350
	内 視 鏡 検 査	6,441	14,525,630	6,467	17,967,345	7,023	16,130,950
	総 合 計	4,923,914	223,241,751	4,889,135	229,103,643	5,010,777	231,485,422

※ 平成29年度から緊急検査は参考値（緊急検査の血液・尿・生化学検査はそれぞれの項目に移動）

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数（入院）

年度 科別	平成 27 年 度			平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	11,609	24,532	160,008	10,328	23,853	161,594	11,228	24,777	174,719
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	14,285	44,445	397,620	15,671	47,020	375,933	15,524	46,688	371,104
呼吸器・アレルギー内科 ※1	10,404	20,473	142,330	10,436	19,456	131,579	10,185	19,373	135,197
腫瘍・血液内科 ※1	19,282	39,998	256,488	19,692	40,977	261,269	19,058	40,333	254,521
神経内科	7,235	13,980	100,331	6,279	13,446	101,671	5,706	13,551	113,041
消化器・総合、乳腺・内分泌外科 ※1	12,867	26,000	152,869	13,638	26,636	157,902	16,472	31,348	180,504
心臓血管外科	6,518	16,417	114,773	6,344	14,965	99,357	5,792	14,089	92,904
呼吸器外科	3,356	6,077	39,602	4,325	6,969	41,879	4,648	7,429	51,109
整形外科	9,524	19,126	123,730	9,979	17,811	112,728	9,796	18,876	122,571
脳神経外科	8,626	17,566	118,813	8,720	16,737	106,968	8,947	16,998	118,902
婦人科	12,174	18,885	124,115	12,026	18,513	125,631	10,999	17,636	129,057
産科周産期科	7,630	8,665	43,558	5,992	6,905	34,870	6,966	8,749	45,749
小児科	6,376	10,539	58,446	6,975	10,414	51,978	6,104	10,084	56,970
眼科	9,329	18,108	45,051	8,978	16,274	41,391	8,723	15,569	37,266
皮膚科	8,452	15,360	78,045	8,392	15,529	85,043	8,779	16,066	84,165
形成外科	2,818	5,390	25,726	2,545	4,735	20,344	3,071	5,278	20,409
泌尿器科	7,099	11,384	62,558	8,534	13,984	67,287	8,425	13,971	67,088
耳鼻咽喉科	9,633	17,173	97,838	8,953	16,075	91,484	9,267	16,496	96,017
神経精神科	8,274	18,713	143,303	8,973	19,534	144,202	8,576	19,883	150,952
麻酔科	750	1,472	13,807	529	1,195	10,437	504	1,159	12,360
総合診療科	183	580	4,622	209	933	7,095	210	723	5,815
神経再生医療科	579	1,615	10,769	408	1,271	8,200	170	527	3,665
放射線治療科	8,401	14,851	94,890	5,972	11,025	75,102	5,165	10,439	71,286
放射線診断科	0	0	0	58	72	295	3	3	19
歯科口腔外科	6,832	9,847	38,060	7,218	10,388	36,349	8,026	10,994	45,480
リハビリテーション科	2,659	7,277	58,330	2,631	6,593	52,438	2,321	6,269	47,541
集中治療部	2,296	3,555	13,357	2,375	3,994	16,272	2,443	3,977	13,706
高度救命救急センター	7,234	11,115	44,178	5,954	9,196	37,004	6,487	9,696	37,914
計	204,425	403,143	2,563,217	202,134	394,500	2,456,302	203,595	400,981	2,540,031

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

(イ) 年間調剤延数（外来）

年度 科別	平成 27 年 度			平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	2,134	13,440	387,112	1,123	7,539	240,541	963	6,119	207,096
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	1,843	10,653	394,087	1,616	9,752	363,358	1,600	9,232	327,886
呼吸器・アレルギー内科 ※1	507	2,762	62,940	441	1,928	48,911	485	1,943	49,917
腫瘍・血液内科 ※1	991	4,880	110,409	1,902	9,244	251,363	1,934	9,264	258,696
神経内科	219	1,000	28,359	215	866	27,710	173	734	28,313
消化器・総合、乳腺・内分泌外科 ※1	585	1,728	53,274	547	1,408	48,003	461	1,243	44,555
心臓血管外科	87	503	21,158	54	331	13,514	49	275	12,555
呼吸器外科	26	57	985	14	19	415	19	41	422
整形外科	1,193	3,136	90,934	1,230	3,269	93,958	1,441	3,711	98,674
脳神経外科	256	828	36,752	300	1,018	36,915	273	830	32,926
婦人科	367	798	15,987	516	1,010	17,089	486	887	12,811
産科周産期科	338	565	2,581	311	546	3,056	328	490	3,084
小児科	139	557	5,601	122	432	4,822	91	211	5,070
眼科	826	1,940	12,237	856	2,105	11,032	813	2,064	10,741
皮膚科	2,293	5,855	83,944	1,985	4,939	67,138	1,728	4,430	55,841
形成外科	233	524	6,997	269	656	8,426	182	380	6,316
泌尿器科	1,033	3,561	63,468	1,067	3,855	72,458	1,285	5,052	86,988
耳鼻咽喉科	460	1,038	21,429	509	1,164	24,889	471	1,301	29,974
神経精神科	1,197	5,133	124,577	1,103	4,531	109,320	1,157	4,713	113,509
麻酔科	774	4,115	103,446	652	3,870	96,897	528	2,864	77,288
総合診療科	21	78	1,214	23	79	1,406	52	197	4,062
神経再生医療科	1	2	2	1	3	270	0	0	0
放射線治療科	67	114	2,449	55	80	1,282	42	83	2,974
放射線診断科	2	4	24	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	445	696	4,876	441	753	5,414	628	1,092	6,890
リハビリテーション科	1,086	4,888	120,697	1,170	5,137	126,541	982	4,207	106,950
臨床遺伝外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	6	11	92	10	23	204	14	22	205
計	17,129	68,866	1,755,631	16,532	64,557	1,674,932	16,185	61,385	1,583,743

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

(ウ) 年間入院注射処方せん延数

年度 科別	平成 27 年 度			平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	14,250	40,622	82,307	10,575	29,489	50,381	12,549	37,739	60,989
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	15,059	42,977	76,502	14,472	45,834	75,358	14,492	41,286	70,162
呼吸器・アレルギー内科 ※1	6,658	19,039	36,897	8,114	26,944	50,932	7,453	29,390	47,232
腫瘍・血液内科 ※1	21,453	58,540	130,405	23,920	65,243	159,069	23,491	64,494	149,941
神経内科	4,160	10,521	20,831	3,908	10,711	25,152	3,714	9,639	24,060
消化器・総合・乳腺・内分泌外科 ※1	18,204	44,842	86,583	18,277	46,000	84,566	18,589	44,979	85,935
心臓血管外科	5,879	15,797	28,848	5,930	15,373	28,607	6,313	19,351	37,628
呼吸器外科	2,190	6,528	9,700	3,304	9,548	14,370	2,163	5,575	7,694
整形外科	9,023	22,827	32,268	8,840	24,532	32,897	8,353	23,477	29,891
脳神経外科	10,212	25,833	49,283	7,879	19,162	33,507	7,677	19,251	38,091
婦人科	8,871	26,267	45,021	7,688	23,671	41,680	7,069	20,362	38,008
産科周産期科	5,967	13,760	30,653	5,591	12,469	30,377	5,939	12,582	26,286
小児科	13,668	56,495	99,963	14,793	66,066	112,710	11,465	52,429	92,828
眼科	2,557	3,874	4,688	2,953	4,629	5,770	3,207	5,395	6,501
皮膚科	5,045	10,602	16,976	4,804	10,612	16,112	4,800	10,227	16,468
形成外科	1,376	2,803	4,938	1,167	2,630	4,124	1,254	2,877	4,172
泌尿器科	4,905	14,236	25,019	5,361	14,496	25,529	5,666	15,003	24,491
耳鼻咽喉科	5,030	10,516	17,611	5,311	11,494	19,668	5,403	12,515	21,703
神経精神科	674	1,211	1,983	947	2,034	3,067	616	1,125	1,806
麻酔科	138	278	362	143	329	377	179	354	601
総合診療科	0	0	0	1	1	1	1	1	1
神経再生医療科	489	1,036	1,604	288	568	1,023	146	177	206
放射線治療科	4,203	10,250	18,202	2,555	5,729	9,596	2,612	6,456	9,654
放射線診断科	3	11	15	6	8	13	1	1	1
歯科口腔外科	5,396	10,230	14,725	4,596	9,503	14,728	5,223	10,536	18,071
リハビリテーション科	347	823	939	614	1,370	1,607	667	1,266	1,571
集中治療部	0	0	0	0	0	0	46	124	339
高度救命救急センター	0	0	0	0	0	0	17	29	77
計	165,757	449,918	836,323	162,037	458,445	841,221	159,105	446,640	814,407

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

(エ) 年間院外処方延数

年度 科別	平成 27 年 度			平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	枚	件	剤	枚	件	剤	枚	件	剤
消化器・免疫・リウマチ内科 ※1	19,405	105,225	3,940,356	17,667	93,855	3,671,969	18,038	95,080	3,733,389
循環器・腎臓・代謝内分泌内科 ※1	30,174	168,789	7,012,694	25,866	146,187	6,209,072	24,346	138,164	5,826,953
呼吸器・アレルギー内科 ※1	7,933	30,293	807,843	8,348	32,194	832,113	8,382	32,989	869,647
腫瘍・血液内科 ※1	11,207	48,303	1,732,743	12,102	52,068	1,920,962	12,341	51,152	1,834,307
神経内科	6,436	28,432	1,143,250	6,467	28,713	1,175,844	6,441	29,180	1,179,664
消化器・総合・乳腺・内分泌外科 ※1	6,443	17,555	770,365	7,029	19,121	816,779	7,354	20,771	880,180
心臓血管外科	1,738	8,893	376,309	1,845	9,834	402,964	1,774	8,764	376,520
呼吸器外科	392	789	20,684	459	992	27,812	471	997	31,196
整形外科	12,433	28,555	899,785	12,849	30,272	952,579	13,184	31,505	992,982
脳神経外科	3,605	11,190	566,485	3,675	11,468	567,063	3,704	11,471	576,219
婦人科	6,097	10,649	314,363	5,607	9,761	290,297	5,477	9,628	294,283
産科周産期科	1,278	1,774	24,617	1,070	1,528	19,967	1,156	1,663	23,343
小児科	6,784	20,366	568,813	6,648	19,172	555,249	6,656	18,679	526,810
眼科	14,000	30,549	174,418	12,596	28,996	158,561	12,613	29,309	163,667
皮膚科	16,024	45,105	649,862	15,144	42,524	626,614	14,770	42,315	641,520
形成外科	1,131	1,664	13,572	1,060	1,606	12,790	1,081	1,828	17,414
泌尿器科	6,923	12,451	595,442	6,931	13,755	637,052	7,117	14,558	657,112
耳鼻咽喉科	10,747	26,506	750,006	10,535	26,085	763,543	10,701	27,371	824,128
神経精神科	20,227	77,876	2,055,127	17,359	63,533	1,704,964	16,667	61,463	1,611,983
麻酔科	3,853	15,931	448,664	4,084	16,729	462,106	3,524	14,357	417,983
総合診療科	4,007	14,570	359,990	4,947	17,963	427,924	4,878	19,453	462,226
神経再生医療科	166	568	23,040	149	564	23,744	145	543	24,925
放射線治療科	1,597	3,181	97,304	1,528	3,090	97,932	1,345	2,849	94,363
放射線診断科	5	14	81	10	35	402	4	13	163
歯科口腔外科	4,154	6,191	55,001	4,031	6,284	59,693	4,165	6,507	58,650
リハビリテーション科	2,811	11,045	264,284	2,816	10,974	266,149	2,643	10,856	271,928
臨床遺伝外来	0	0	0	1	2	28	3	5	36
集中治療部	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高度救命救急センター	58	163	2,389	92	312	4,439	79	244	4,481
計	199,628	726,627	23,667,487	190,915	687,617	22,688,611	189,059	681,714	22,396,072

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

エ 手術部手術件数

(単位：件)

年 度 科 別	平 成 27 年 度	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度
消化器・免疫・リウマチ内科※1	8	1	1
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1	7	2	0
呼吸器・アレルギー内科※1	3	0	0
腫瘍・血液内科学※1	9	4	6
神 経 内 科	1	0	0
消化器・総合、乳腺・内分泌外科※1	541	648	712
心 臓 血 管 外 科	327	328	315
呼 吸 器 外 科	282	298	309
整 形 外 科	883	979	1,046
脳 神 経 外 科	287	266	250
婦 人 科 ・ 産 科 周 産 期 科	897	856	876
小 児 科	13	5	4
眼 科	1,185	1,140	1,241
皮 膚 科	319	366	348
形 成 外 科	685	645	748
泌 尿 器 科	450	525	530
耳 鼻 咽 喉 科	474	487	474
神 経 精 神 科	95	110	101
放 射 線 治 療 科	1	1	0
放 射 線 診 断 科	0	0	0
麻 酔 科	17	13	8
総 合 診 療 科	0	0	0
歯 科 口 腔 外 科	546	603	503
リハビ、リテーション科	0	0	0
神 経 再 生 医 療 科	0	0	0
高 度 救 命 救 急 セ ン タ ー	153	153	139
集 中 治 療 部	0	0	0
合 計	7,183	7,430	7,611

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

(5) 分娩件数

区 分	平 成 27 年 度	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度
件 数	362	292	359

(6) 病床数 (平成30年10月1日現在)

① 病棟別病床数

病 棟 名	室数	床数	特等		一等(A)		一等(B)		準一等		一般		1 床部屋	2 床部屋	3 床部屋	4 床部屋	5 床部屋	6 床部屋	7 床部屋	8 床部屋	1 2 床部屋
			室数	床数	室数	床数	室数	床数	室数	床数	室数	床数									
11階北病棟 (循環器・腎臓・代謝内分泌内科・共用)	12	52					2	2	1	4	9	46	2	2		1		7			
11階南病棟 (呼吸器・アレルギー内科・共用)	14	51									14	51	4	1	3			6			
10階北病棟 (腫瘍・血液内科・共用)	15	52	1	1							14	51	6	2				7			
9階北病棟 (皮膚科・形成外科・共用)	15	50					1	1			14	49	4	5				6			
9階南病棟 (耳鼻咽喉科・整形外科・内科共用)	15	50					1	1			14	49	5	3	1			6			
9階西病棟 (消化器内科)	12	30			4	4			3	12	5	14	6			6					
8階北病棟 (脳神経外科・共用)	14	43									14	43	3	4	1	1	5				
8階西病棟 (泌尿器科)	12	30			3	3			3	12	6	15	6			6					
7階西病棟 (眼科)	12	30			6	6			3	12	3	12	6			6					
6階北病棟 (婦人科・共用)	14	49	1	1							13	48	4	3	1			6			
6階南病棟 (産科周産期、生殖内分泌科・共用)	7	25					1	1			6	24	1	3				3			
6階西病棟 (産科周産期、生殖内分泌科・共用)	9	34			2	2			1	4	6	28	4		1	2			1		1
5階北病棟 (心臓血管外科・呼吸器外科・共用)	14	47	1	1			2	2			11	44	3	4		1	4	2			
5階南病棟 (消化器・総合、乳腺・内分泌外科・共用)	14	51									14	51	3	3	2			6			
5階西病棟 (小児科)	12	30			1	1					11	29	6			6					
4階北病棟 (神経精神科)	14	42									14	42	7	1			3	3			
4階西病棟 (整形外科)	12	30			3	3					9	27	6			6					
3階中央病棟(脳神経内科・消化器内科)	11	45									11	45		3		1	7				
2階南病棟 (歯科口腔外科・免疫・リウマチ内科・共用)	13	42					2	2			11	40	4	2		1	6				
1階南病棟 (放射線治療科・共用)	21	47					2	2			19	45	10	6			5				
高度救命救急センター	5	31									5	31					1	3		1	
集中治療部	1	6									1	6						1			
合計	268	867	3	3	19	19	11	11	11	44	224	790	90	42	9	37	31	56	1	1	1

※ 集中治療部門には人工透析室(6床)を設置している。

※ 71床休床

※ 等級別室料差額料金 特等：10,800円、一等(A)：8,640円、一等(B)：5,400円、準一等：2,160円

② 診療科等別病床数

診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数	診療科名	病床数
消化器内科	45	整形外科	48	泌尿器科	30	高度救命救急センター	31
免疫・リウマチ内科	5	脳神経外科	43	耳鼻咽喉科	32	合計	854
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	52	神経再生医療科	—	神経精神科	42		
呼吸器・アレルギー内科	51	婦人科	49	放射線治療科	47		
腫瘍・血液内科	52	産科周産期科	49	放射線診断科	—		
脳神経内科	30	小児科	30	麻酔科	—		
消化器・総合、乳腺・内分泌外科	51	眼科	30	総合診療科	—		
心臓血管外科	34	皮膚科	30	歯科口腔外科	37		
呼吸器外科	10	形成外科	20	集中治療部	6		

※ 上記のほか共通床として13床がある。

※ 71床休床

③ 特定入院料等病床数

病床名	設置場所	病床数
結核病床	11階南病棟	6
RI病床	1階南病棟	5
ICU	高度救命救急センター	6
	集中治療部門	6
NICU	6階西病棟	12
GCU	6階西病棟	12

(7) 病理解剖件数

(単位:体)

年 度 科 別	平 成 27 年 度			平 成 28 年 度			平 成 29 年 度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
消化器・免疫・リウマチ内科※1	2	1	3	2		2	1		1
循環器・腎臓・代謝内分泌内科※1	3	2	5	3	2	5	6	3	9
呼吸器・アレルギー内科※1	1	1	2	1		1	2		2
腫瘍・血液内科学※1	—	—	—	5		5	3		3
神 経 内 科	2	0	2					1	1
消化器・総合・乳腺・内分泌外科※1									
心 臓 血 管 外 科				1	1	2		1	1
呼 吸 器 外 科				1		1			
整 形 外 科									
脳 神 経 外 科				1		1			
婦 人 科									
産 科 周 産 期 科		1	1		1	1			
小 児 科									
眼 科									
皮 膚 科								1	1
形 成 外 科									
泌 尿 器 科									
耳 鼻 咽 喉 科									
神 経 精 神 科									
放 射 線 治 療 科									
放 射 線 診 断 科									
麻 酔 科									
総 合 診 療 科									
歯 科 口 腔 外 科									
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科									
神 経 再 生 医 療 科									
高度救命救急センター	0	1	1	1		1	1		1
集 中 治 療 部									
院 外				1	2	3	2	3	5
計	8	6	14	16	6	22	15	9	24

※1 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

(8) 医療相談状況(平成29年度)

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	リウマチ・内科学	消化器科	代謝・内分泌科	循環器科	アレルギー科	呼吸器科	腫瘍・血液内科	乳腺・消化器・泌尿器科	心臓血管外科	呼吸器科	整形外科	脳神経外科	産科	婦人科	小児科	眼科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	神経精神科	麻酔科	歯科口腔外科	リハビリテーション科	神経内科	形成外科	高度救命救急センター	総合診療科	神経再生医療科	放射線治療科	放射線診断科	その他	合計
入院		119	322	170	168	250	85	31	209	143	282	65	209	62	106	77	48	31	6	84	79	221	55	197	0	8	56	0	149	3,232			
外来		324	297	171	419	150	33	52	503	147	265	173	279	154	85	55	133	171	15	64	137	342	161	24	36	0	24	1	458	4,673			
その他		21	21	9	21	13	6	1	22	9	22	4	12	1	3	10	7	71	2	7	4	37	2	23	3	3	2	2	243	581			
合計		464	640	350	608	413	124	84	734	299	569	242	500	217	194	142	188	273	23	155	220	600	218	244	39	11	82	3	850	8,486			

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比(%)	備考
公的 制度等 活用	自立支援	育成医療	290	2.1%
		更生医療	152	1.1%
		精神通院医療	86	0.6%
	養育	医療	230	1.6%
	生活	保護	493	3.5%
	小児	慢性	271	1.9%
	指定	難病	1,175	8.4%
	障害	手帳	902	6.4%
	介護	保険	517	3.7%
	労働	災害	46	0.3%
	健康	保険	1,245	9.0%
	特定	不妊治療	310	2.2%
	年金・手当等		440	3.1%
	その他		323	2.3%
援助・ 対応	経済的	理由	439	3.1%
	心理的	支援	388	2.8%
	家族	問題	100	0.7%
	就職・復職等		62	0.4%
	退院・転院	援助	161	1.2%
	在宅	ケア	190	1.4%
	受診	援助	349	2.5%
	院内	連絡調整	1,644	11.8%
	院外	連絡調整	765	5.5%
	ご意見・苦情		106	0.8%
	その他		1,231	8.8%
心理判定・カウンセリング		1,204	8.6%	
肝疾患		874	6.2%	
計		13,993	100.0%	

ウ がん看護相談件数 (単位:件)

	新規	継続	合計
入院	49	272	321
外来	29	561	590
合計	78	833	911

(9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成27年度	18,563,250,893	5,019,418,645	23,582,669,538	78.7	21.3	100.0
平成28年度	18,659,457,863	5,312,566,766	23,972,024,629	77.8	22.2	100.0
平成29年度	18,848,349,776	5,597,268,275	24,445,618,051	77.1	22.9	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	入院 外来	年度		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
初診料	入院 外来	9,777,461 71,215,339	9,065,387 68,162,032	9,069,097 68,762,162
再診料	外来	240,946,789	229,478,586	225,841,515
医学管理料等・在宅医療	入院 外来	124,125,033 374,394,834	115,435,942 413,368,813	119,037,434 436,320,593
検査料	入院 外来	320,263,595 1,208,673,135	278,722,130 1,202,123,410	286,096,328 1,258,043,691
画像診断料	入院 外来	129,087,558 770,890,515	100,456,993 783,915,383	103,327,071 811,901,515
投薬料	入院 外来	312,410,790 709,996,138	253,100,256 738,042,444	276,392,829 716,009,553
注射料	入院 外来	783,897,293 1,008,953,542	702,385,638 1,264,875,864	725,596,425 1,511,908,192
処置料	入院 外来	138,973,975 44,027,906	161,427,990 45,551,204	135,221,129 48,749,450
手術・麻酔	入院 外来	5,482,180,166 124,383,756	5,792,578,416 111,782,449	5,938,072,173 109,571,928
その他	入院 外来	587,796,928 465,936,691	527,952,969 455,266,581	570,160,221 410,159,676
入院料(出来高部分)	入院	2,874,936,556	2,440,443,005	2,409,343,924
入院料(DPC部分)	入院	7,296,232,370	7,786,637,980	7,795,297,370
室料差額	入院	42,326,200	42,543,000	42,649,960
食事	入院	461,242,968	448,708,157	438,085,815
計	入院 外来	18,563,250,893 5,019,418,645	18,659,457,863 5,312,566,766	18,848,349,776 5,597,268,275

(10) 栄養管理サポート概況

ア NST介入件数（延べ数）

診療科	27年度	28年度	29年度
消化器・免疫・リウマチ内科	102	124	173
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	134	254	280
呼吸器・アレルギー内科	6	9	21
腫瘍・血液内科	363	501	566
消化器・総合、乳腺・内分泌外科	603	680	559
整形外科	87	124	81
脳神経外科	14	36	54
産科周産期科	0	2	1
婦人科	28	1	17
小児科	52	52	10
眼科	5	5	4
皮膚科	63	36	107
泌尿器科	7	8	3
耳鼻咽喉科	154	105	130
神経精神科	56	42	4
放射線治療科	25	15	12
麻酔科	0	0	0
歯科口腔外科	38	122	280
リハビリテーション科	3	19	53
神経内科	43	30	33
形成外科	58	31	19
高度救命救急センター	29	10	42
総合診療科	0	0	0
心臓血管外科	48	73	47
呼吸器外科	35	65	53
神経再生医療科	0	7	0
合 計	1,953	2,351	2,549

※ 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー
第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合、乳腺・内分泌外科に名称変更

※ NST介入件数は、非加算件数を含む

イ 栄養指導件数

診療科	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
消化器・免疫・リウマチ内科	60	46	106	55	38	93	66	120	186
循環器・腎臓・代謝内分泌内科	457	319	776	523	221	744	421	423	844
呼吸器・アレルギー内科	26	1	27	16	4	20	10	5	15
腫瘍・血液内科	59	64	123	31	24	55	268	37	305
消化器・総合・乳腺・内分泌外科	108	15	123	335	38	373	400	157	557
心臓血管外科	103	4	107	120	6	126	139	26	165
呼吸器外科	6	0	6	10	0	10	73	8	81
整形外科	3	1	4	6	1	7	9	2	11
脳神経外科	8	9	17	7	10	17	7	9	16
産科周産期科	17	22	39	23	3	26	17	8	25
婦人科	21	2	23	17	1	18	14	8	22
小児科	21	91	112	19	47	66	15	53	68
眼科	32	2	34	30	6	36	17	3	20
皮膚科	20	1	21	15	3	18	25	5	30
泌尿器科	28	6	34	32	5	37	63	19	82
耳鼻咽喉科	3	11	14	4	4	8	3	24	27
神経精神科	9	2	11	13	8	21	18	23	41
麻酔科	0	2	2	0	0	0	2	0	2
歯科口腔外科	9	1	10	3	2	5	22	2	24
リハビリテーション科	24	6	30	18	2	20	10	7	17
神経内科	43	38	81	23	19	42	20	18	38
形成外科	2	0	2	4	0	4	9	1	10
救急部	6	0	6	3	0	3	1	1	2
総合診療科	0	18	18	0	14	14	2	24	26
神経再生科	3	0	3	0	0	0	0	0	0
放射線治療科	5	0	5	9	0	9	5	0	5
合 計	1,073	661	1,734	1,316	456	1,772	1,636	983	2,619

※ 平成27年度に第一内科を消化器・免疫・リウマチ内科、第二内科を循環器・腎臓・代謝内分泌内科、第三内科を呼吸器・アレルギー内科、第四内科を腫瘍・血液内科、第一外科を消化器・総合・乳腺・内分泌外科に名称変更

※ 栄養指導件数は、非加算件数を含む

4 医学部附属フロンティア医学研究所

(1) 沿革

平成23年4月1日 医学部附属がん研究所、医学部附属臨海医学研究所及び教育研究機器センター2研究部門を再編統合し、医学部附属フロンティア医学研究所を設置
医学部附属臨海医学研究所を医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設に名称変更

平成24年3月31日 医学部附属フロンティア医学研究所臨海医学研究施設を廃止

平成25年4月1日 分子医科学部門を細胞科学部門に名称変更

平成25年8月1日 遺伝子工学部門を分子医学部門に、医生物学部門を免疫制御医学部門に名称変更

(2) 歴代研究所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日 黒 木 由 夫
平成26年4月1日－平成30年3月31日 時 野 隆 至
平成30年4月1日－現 在 小 海 康 夫

(3) 歴代研究所副所長

平成23年4月1日－平成26年3月31日 澤 田 典 均
平成26年4月1日－平成30年3月31日 三 高 俊 広
平成30年4月1日－現 在 一 宮 慎 吾

(4) 組織

研究所に細胞科学、ゲノム医科学、組織再生学、分子医学、病態情報学、神経再生医療学、免疫制御医学の7部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成30年10月1日現在)

部 門	教授	准教授	講師	助教	助手	臨床検査技師	衛生検査技師	技師	計
細胞科学部門	1	1	1					1	4
ゲノム医科学部門	1		1						2
組織再生学部門	1	1		1		1			4
分子医学部門		1		1	1				3
病態情報学部門	1			2					3
神経再生医療学部門	1		2						3
免疫制御医学部門	1		1	1					3
合 計	6	3	5	5	1	1	0	1	22

【附属フロンティア医学研究所とは】

札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所は、北海道における医療と道民の健康増進に貢献するために、先端医学研究を基盤として、トランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）を志向し、その成果を道民に還元することを目的としています。

5 医学部教育研究機器センター

(1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	R I 研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年 4 月 1 日	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	R I 研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年 4 月 1 日	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年 4 月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年 6 月	分子機能解析部門に教員を配置
平成23年 4 月 1 日	医学部附属研究所の再編に伴い、教育研究機器センターも研究支援部門として、システム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、細胞プロセッシング施設の7部門と1施設に再編
平成24年 4 月 1 日	画像・映像支援部門を新設
平成30年 4 月 1 日	ラジオアイソトープ部門を教育研究棟へ移設

(2) 歴代施設部長及びセンター長

昭和44年 4 月 1 日－昭和45年 3 月31日	小野江 為 則
昭和45年 4 月 1 日－昭和46年 8 月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9 月 1 日－昭和50年 3 月31日	田 中 護
昭和50年 4 月 1 日－昭和54年 3 月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4 月 1 日－昭和58年 3 月31日	林 喬 義
昭和58年 4 月 1 日－昭和61年 3 月31日	藪 英 世
昭和61年 4 月 1 日－平成 2 年 3 月31日	秋 野 豊 明
平成 2 年 4 月 1 日－平成 6 年 3 月31日	森 道 夫
平成 6 年 4 月 1 日－平成10年 3 月31日	加 納 英 雄
平成10年 4 月 1 日－平成12年 3 月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4 月 1 日－平成16年 3 月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4 月 1 日－平成20年 3 月31日	藤 井 暢 弘
平成20年 4 月 1 日－平成22年 3 月31日	山 下 敏 彦
平成22年 4 月 1 日－平成26年 3 月31日	藤 宮 峯 子
平成26年 4 月 1 日－平成28年 3 月31日	小 林 宣 道
平成28年 4 月 1 日－平成30年 3 月31日	加 藤 淳 二
平成30年 4 月 1 日－現 在	當 瀬 規 嗣

(3) 組織

センターはシステム管理部門、形態解析部門、電子顕微鏡部門、蛋白質解析部門、遺伝子解析部門、細胞バンク部門、ラジオアイソトープ部門、画像・映像支援部門の8部門からなり、構成員は以下のとおりである。
(平成30年10月1日現在)

部 門	部 門 長			臨床検査技師	診療放射線技師	電子顕微鏡操作員	技師	その他職員	計
	教授	准教授	講師						
システム管理部門	1 ※						1 ※		2
形態解析部門			1 ※	4					5
電子顕微鏡部門		1 ※				2			3
蛋白質解析部門	1 ※						1 ※		2
遺伝子解析部門	1 ※						1 ※		2
細胞バンク部門			1 ※				2		3
ラジオアイソトープ部門	1 ※				4				5
画像・映像支援部門	1 ※						2	4	7
合計	5 ※	1 ※	2 ※	4	4	2	7	4	29

※ 兼務

6 医学部動物実験施設部

(1) 沿革

昭和25年4月	各講座で実験動物飼育開始
昭和27年	基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設 臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設
昭和38年12月10日	臨床動物実験室建設
昭和44年4月1日	共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる
昭和45年3月	基礎動物舎竣工
昭和57年2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年5月16日	動物実験施設部設置
昭和63年10月	札幌医科大学動物実験指針施行
平成9年3月	動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成19年3月までに20回開催）
平成20年1月	札幌医科大学動物実験規程施行

(2) 歴代施設部長

昭和57年5月16日－昭和59年3月31日	浦 澤 正 三
昭和59年4月1日－昭和63年3月31日	森 道 夫
昭和63年4月1日－平成4年3月31日	藪 英 世
平成4年4月1日－平成8年3月31日	大 鹿 英 世
平成8年4月1日－平成10年3月31日	新 津 洋司郎
平成10年4月1日－平成14年3月31日	今 井 浩 三
平成14年4月1日－平成17年3月31日	青 木 藩
平成17年4月1日－平成19年3月31日	加 納 英 雄
平成19年4月1日－平成22年3月31日	澤 田 典 均
平成22年4月1日－平成26年3月31日	堀 尾 嘉 幸
平成26年4月1日－平成28年3月31日	高 橋 弘 毅
平成28年4月1日－現在	藤 宮 峯 子

(3) 組織

(平成30年10月1日現在)

部長	副部長	主査	獣医師	動物飼育員	業務委託	庶務	計
1※	1	1	1	2	8	1	15

※ 兼務

(4) 関連委員会・指針

札幌医科大学動物実験委員会
 動物実験施設管理運営委員会
 感染防止委員会実験動物部会
 札幌医科大学動物実験規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設管理運営規程
 札幌医科大学医学部動物実験施設使用細則

(5) 事業の概要（平成29年度）

ア 施設利用者数 延べ 14,641 名

イ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	購入数	延べ飼育数※
ラット	4,719	394,519
遺伝子改変ラット	105(内数)	29,275(内数)
マウス	2,838	1,505,309
遺伝子改変マウス	79(内数)	989,972(内数)
モルモット	8	400
ウサギ	0	0
ネコ	0	0
ブタ	0	0
サル	0	0
ウニ	0	0
イヌ	0	0
ハムスター	0	0

※ 延べ飼育数は、頭数×日数で算出

ウ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ウサギ	ブタ	イヌ
受 入 頭 数	4,719	2,838	8	0	0	0
発 病 頭 数	2	0	0	0	0	0
死 亡 頭 数	7	12	0	0	0	0
剖検検査頭数	56	54	0	0	0	0
抗体検査頭数	68	86	－	－	－	0
培養検査頭数	76	86	0	0	0	0

7 附属総合情報センター

(1) 沿革

昭和25年4月 旧女子医学専門学校校舎の一室に図書館業務を開始
 昭和31年7月 附属図書館新築落成
 平成11年4月 附属情報センター組織
 平成11年6月 図書館開館
 平成18年4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。
 平成19年4月 特別開館時間の拡大（24時間開館）

(2) センター長

平成18年4月1日－平成22年3月31日 佐藤 昇 志
 平成22年4月1日－平成26年3月31日 當瀬 規 嗣
 平成26年4月1日－平成30年3月31日 氷見 徹 夫
 平成30年4月1日－現在 長 峯 隆

(3) 組織

(平成30年10月1日現在)

区 分	教 員	事務職員	司 書	計
センター長	1※			1
副センター長	1※	1		2
企画開発室	2※			2
主任司書			欠	0
総務・システム係		4		4
図 書 係		2	5	7
計	4※	7	5	16

※ 兼務

(4) 事業の概要及び主な施設の整備状況

(情報システム部門)

ア 教育支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境を整備し、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (Windows 7 130台) 等 保健医療学部教育用機器 (Windows 7 57台) 等	基礎医学研究棟5階 コンピュータ実習室 保健医療学部棟1階 コンピュータ実習室

イ 研究支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、学術論文評価システム等	基礎医学研究棟 5 階コンピュータ（サーバ）室

ウ 地域医療支援システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっている。本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	TV会議システム	基礎医学研究棟 2 階事務室

エ 図書館システム

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
本学所蔵資料の検索システム並びに電子ジャーナル提供システムの整備により、本学所属員の教育、研究支援を計るとともに、学術文献情報提供による卒後アフターと地域医療支援を計る。 平成30年度学外利用者登録数 1,975名	図書雑誌管理システム、論文管理システム * 平成12年5月 日本医学図書館協会賞を受賞	基礎医学研究棟 5 階コンピュータ（サーバ）室

オ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣 旨	主 な 機 器	設置場所等
情報センターが整備する上記4システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク（SINET5）と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、通信監視制御機器、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアーウォール、ウィルスチェックサーバ及び学内統一ウィルス対策ソフト、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟5階コンピュータ（サーバ）室

（図書館部門）

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,140 m ²
閲覧席	299 席
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V（視聴覚）端末	6 台
貸出用ノートパソコン	34 台
有料セルフコピー・プリンター（コイン式）	5 台

イ 蔵書

（平成30年3月31日現在）

項 目		冊 数
蔵書	図書	88,666冊
	製本雑誌	131,144冊
	計	219,804冊

項 目		冊 数
学術雑誌	和雑誌	3,389タイトル
	洋雑誌	3,102タイトル
	計	6,491タイトル
電子ジャーナル		6,239タイトル

ウ 入館者数内訳（平成29年度）

（単位：人）

	開館日数	学 内 者					学外者	合 計
		教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全体	359日	11,272	115,290	2,795	5,779	135,136	5,153	140,289
うち土日祝	117日	1,009	21,119	340	17	22,485	1,383	23,868

※ 土・日・祝日開館9時～翌日9時

エ 利用概要（平成29年度）

項 目		利用数
利用状況	館外貸出	14,572冊（うち本学卒業生1,644冊）
	相互利用（学外からの受付）	3,109件（うち道内医療機関等2,318件）
	相互利用（学外への依頼）	1,955件

オ 地域医療支援（平成29年度文献複写受付）

相互利用（学外からの受付）	内 訳	医療機関等	大学等	その他	計
	道 内	2,318件	131件	26件	2,475件
	道 外	22件	577件	0件	599件
	計	2,340件	708件	26件	3,074件

カ 特徴的な業務

(ア) 24時間開館の実施

(イ) 閲覧席で持参のノートパソコンを使用したデータベースやインターネットへの接続環境を提供

(ウ) 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供

・米国国立医学図書館医学文献データベース「PubMed」利用

・国立国会図書館雑誌記事索引「NDL-OPAC」利用

(エ) 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

8 附属産学・地域連携センター

(1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足

平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

平成30年4月 事務局研究支援課設置に伴い、産学・地域連携センターを改編

(2) 歴代センター長

平成19年4月1日－平成20年3月31日 濱 田 洋 文

平成20年4月1日－平成23年5月9日 三 高 俊 広

平成23年5月10日－平成24年3月31日 黒 木 由 夫

平成24年4月1日－平成26年3月31日 佐 藤 昇 志

平成26年4月1日－平成30年3月31日 澤 田 典 均

平成30年4月1日－現在 堀 尾 嘉 幸

(3) 組織

(平成30年10月1日現在)

センター長	部門長	特任准教授	特任助教	計
1 ※	2 (うち1 ※)	1	2	6

※兼務

(4) 業務概要

ア 研究部門

- 外部資金獲得に向けた研究者支援
- 地域連携に係る研究者支援

イ 開発部門

- 知的財産に係る研究者支援
- 産学連携に係る研究者支援

(5) 文部科学省科学研究費助成事業

(単位：千円)

種 目	平成 28 年度							平成 29 年度						
	新 規 応 募		交付内定					新 規 応 募		交付内定				
			(新規)			交付合計				(新規)			交付合計	
	件 数	金 額 (期間総額)	件 数	金 額 (期間総額)	採択 率	件 数	金額 (H27 年度)	件 数	金 額 (期間総額)	件 数	金 額 (期間総額)	採択 率	件 数	金額 (H28 年度)
新学術領域 研究(研究領 域提案型)	5	302,000	0	0	0%	0	0	3	378,450	0	0	－	0	0
新学術領域研究 (公募研究)	6	56,200	0	0	0%	0	0	9	58,880	2	12,200	22.2%	2	6,000
特別研究 促進費	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0
特別推進 研究	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0
基盤研究 (S)	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0
基盤研究 (A)	5	223,968	1	32,600	20.0%	1	8,800	3	149,498	1	32,400	33.3%	2	21,700
基盤研究 (B)	13	235,397	2	26,800	15.4%	10	35,700	18	323,034	3	41,000	16.7%	10	39,500
基盤研究 (C)	152	696,080	42	152,900	27.6%	120	151,800	144	660,081	45	155,200	31.3%	128	148,650
挑戦的研 究(開拓)	－	－	－	－	－	－	－	1	7,050	0	0	－	0	0
挑戦的研 究(萌芽)	－	－	－	－	－	－	－	23	102,701	2	9,800	8.7%	9	12,600
挑戦的 萌芽研究	42	191,362	5	12,400	11.9%	14	16,000	－	－	－	－	－	－	－
若手研究 (A)	1	30,000	0	0	0%	1	3,000	2	45,161	0	0	0.0%	0	0
若手研究 (B)	76	337,460	27	75,000	35.5%	57	62,200	87	390,953	27	81,800	31.0%	61	74,750
研究活動 スタート支援	17	47,777	2	4,400	11.8%	4	3,600	3	6,000	0	0	0.0%	2	2,000
奨励研究	1	1,000	0	0	－	0	0	2	1,995	0	0	0.0%	0	0
特別研究 員奨励費	2	5,400	2	5,400	100%	2	1,600	1	3,000	1	1,900	100.0 %	1	1,000
研究成果 公開促進費	0	0	0	0	－	0	0	0	0	0	0	－	0	0
合 計	320	2,126,644	81	309,500	25.3%	209	282,700	296	2,126,803	81	334,300	27.4%	215	306,200

(6) 受託研究受入れ状況

(単位：件、千円)

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
国等受託・共同研究	54	249,558	74	254,744	88	250,119
一般受託研究	110	28,808	101	27,243	91	43,535
合 計	164	278,366	175	281,987	179	293,654

(7) 特許出願等の状況

(単位：件)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
出 願	15	26	21	33	54	29
取 得	9	20	13	12	45	19

※出願数は、国際出願（PCT 出願）を含む。

9 寄附講座

(1) 生体工学・運動器治療開発講座

ア 沿革

平成 24 年 4 月 1 日 バイオメット・ジャパン株式会社（2016 年 2 月 1 日よりジンマー・バイオメット合同会社）及びスミス・アンド・ネフュー オーソペディックス株式会社（2017 年 1 月 1 日よりスミス・アンド・ネフュー株式会社）の寄附により、寄附講座として生体工学・運動器治療開発講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 24 年 4 月 1 日－現在 山下 敏彦

(イ) 代表教員

平成 24 年 4 月 1 日－現在 名越 智

ウ 組織

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任教授	研究支援員	計
2 ※	1 ※	1 ※	1	0	5

※兼務

エ 研究計画の概要

中高年の運動器疾患の治療に用いる人工関節では、その耐用年数が問題となる。一方、若年者の関節疾患に対しては、生体工学的環境の改善が求められる。そのため新しい手術方法の開発とその臨床応用、標準化が課題となる。本寄附講座では、運動器疾患治療の臨床面での困難な問題に対して、臨床的アプローチのみならず基礎的研究手法を応用し、これらの課題を解決していく。特に未固定標本を用いた運動器生体工学的研究とコンピュータ画像解析ソフトを用いたシミュレーションから運動器機能の改善、再建に関する新知見を得ることを目的とする。さらに運動器生体工学に関する教育を通じて専門的医療人の育成を行う。

- (ア) 骨切り術における三次元画像シミュレーション
- (イ) 人工関節における生体工学的研究
- (ウ) 手術アプローチの開発と安全性の検証
- (エ) 人工股関節インプラントデザインの検証と開発
- (オ) バランスの良い人工関節置換のための軟部組織解離の検討
- (カ) 特発性大腿骨頭壊死症に対する大腿骨頭回転骨切り術における臨床成績
- (キ) 特発性大腿骨頭壊死症における動物モデルの確立
- (ク) 若手整形外科医の教育
- (ケ) 人工股関節における金属合併症の解決策の試み

(2) アイン・ニトリ緩和医療学推進講座

ア 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 株式会社アインファーマシーズ（現 株式会社アインホールディングス）及び株式会社ニトリの寄附により、寄附講座としてアイン・ニトリ緩和医療学推進講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

(イ) 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日 ー 平成 25 年 11 月 30 日 杉 本 直 子

平成 25 年 12 月 1 日 ー 現 在 米 田 舞

ウ 組織

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任助教	計
1 ※	1 ※	2	4

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本講座では、緩和医療・ケアにおける多職種連携によるチーム医療の普及と発展を図るため、次の取組を実施する。

- (ア) 患者・家族の緩和医療・ケアに求めるものに関しての実態調査を実施し、分析するとともに、多職種連携に関する研究課題を検討する。
- (イ) 検討事項に関して、身体症状担当医師、精神症状担当医師、認定看護師、認定薬剤師、臨床心理士、社会福祉士がそれぞれの分野において活動し、その成果を公表するとともに、多職種連携が適切に行われ臨床に活かされているかを考察し、教員・研究者へのフィードバックと院内・外、地域医療へ還元する。
- (ウ) 「がん相談サロン」のあり方を検討し、がん患者の包括的アセスメントに占めるコ・ワーカーとしての位置づけを確立する。
- (エ) 多職種連携型の緩和医療を推進するモデルケースとして当講座の役割を地域において公開講座、学会、セミナー等で発信する。

(3) 再生治療推進講座

ア 沿革

平成 26 年 2 月 1 日 ニプロ株式会社の寄附により、寄附講座として再生治療推進講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 26 年 2 月 1 日－現在 本 望 修

(イ) 代表教員

平成 26 年 2 月 1 日－平成 28 年 3 月 31 日 池 端 知 沙

平成 28 年 4 月 1 日－現在 岡 真 一

ウ 組織

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	特任講師	特任助教	研究支援者	訪問研究員	研究補助員	計
1 ※	1 ※	1	4 ※	1	6 8 ※	1	7 7

※ 兼務

エ 研究計画の概要

本寄附講座は、神経再生医療学部門が進めてきた自己骨髄細胞を利用した脳梗塞や脊髄損傷等の再生医療の基礎研究、臨床研究及び医師主導型治験をベースに、神経再生医療学部門と共同で、医師主導型治験から、その後の再生医療の実用化（製造・販売）に向けた研究開発を行う。

- (ア) 治験薬 GMP に則った細胞の製造から、施設管理、衛生管理、品質管理及びパイロットプラントである CPC の維持管理業務等、治験薬製造の効率化を検討する。
- (イ) 細胞医薬品の同等性評価方法の研究に着手する。また、より適切な方法と試験に必要な器具の開発を行う。更に品質検査体制について、新体制で品質検査を実施するために各種バリデーションと作業員の教育訓練を実施し、早期に新体制を確立する。
- (ウ) 実用化の際に課題となるコスト削減と製造環境の無菌性の向上を目標に専用の製造設備の開発に着手する。
- (エ) 原料となる患者から採取した血液と骨髄及び製品の搬送条件を検討する。搬送時の温度と時間による劣化を検討し、その結果を基に品質を安定化できる搬送器具の開発に着手する。
- (オ) 製品の有効期限を検討するため、長期安定性試験を実施する。培養した細胞を長期に冷凍保管し、長期保存のデータを取得する。

(4) 北海道病院前・航空・災害医学講座

ア 沿革

平成 28 年 4 月 1 日 寄附講座として北海道病院前・航空・災害医学講座を設置

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 28 年 4 月 1 日－現 在 成 松 英 智

(イ) 代表教員

平成 28 年 4 月 1 日－平成 28 年 8 月 31 日 窪 田 生 美

平成 28 年 9 月 1 日－平成 29 年 3 月 31 日 森 幸 野

平成 29 年 4 月 1 日－平成 29 年 11 月 30 日 吉 田 有 法

平成 29 年 12 月 1 日－現 在 中 舘 聡 子

ウ 組織

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	特任助教	研究補助員	計
1 ※	3 ※	3 ※	1	1	9

※ 兼務

エ 研究計画の概要

- ・北海道の病院前救護を研究するとともに、救急救命士等救急隊員の教育プログラムを開発し、病院前救護の高度化に貢献する。
- ・広大で医療資源の偏在が著しい北海道の航空医療体制確立を図るための研究及び救急搬送ヘリコプター等、航空医療搬送関係機関の連携体制、医療優先固定翼機の導入及び運用に向けた研究を行う。
- ・北海道の災害医療を研究するとともに、災害医療従事者の教育プログラムを開発し、災害発生時に効果的に活動できる医療体制確立に貢献する。

(ア) 救急救命士の教育方法の研究

(イ) メディカルコントロールについての研究

(ウ) 医療用ヘリコプターの有効性と課題の研究

(エ) 医療優先固定翼機の有効性と課題の研究

(オ) 災害時医療チームの教育方法の研究

(カ) 災害時医療体制の研究

(キ) 高齢者救急の研究

10 特設講座

(1) がん疼痛緩和医療学講座

ア 沿革

平成 25 年 4 月 1 日 本学が文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に選定されたことに伴い、特設講座としてがん疼痛緩和医療学講座が発足

イ 担当教授及び代表教員

(ア) 担当教授

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

(イ) 代表教員

平成 25 年 4 月 1 日 ー 現 在 山 蔭 道 明

ウ 組織

(平成 30 年 10 月 1 日現在)

教授	講師	助教	計
1 ※	1 ※	1 ※	3

※ 兼務

エ 研究計画の概要

がん患者の疼痛、悪心嘔吐、呼吸困難など様々な症状は、QOL の低下と予後の悪化を招くことが知られている。特に、がん関連疼痛は治療に難渋することが多く、その機序の解明および症状緩和の方法についてさらなる研究が期待されている。

当講座ではがん患者の疼痛および諸症状の機序および緩和方法について研究する。さらに、これらの症状コントロールに適切に対応できる医療人の育成も担い、その効果的な教育方法と臨床への展開についても研究テーマとする。

(ア) がん疼痛の機序解明に関する臨床および基礎研究

- ・がん疼痛モデルをはじめとする様々な疼痛モデルを用いて、がん関連疼痛の機序を解明するための動物実験を行う。
- ・がんおよびその関連病態に伴う患者の痛みの発症原因を、因子解析、ゲノム解析、臨床薬理学的検討などの手法を用いて、臨床での患者を対象に解明する。

(イ) がん疼痛の制御に関連する臨床および基礎研究

- ・痛みに対する薬物治療、神経ブロック、精神心理療法、リハビリテーションなどの効果を基礎的および臨床的に検討する。

(ウ) がんおよびその治療に伴う諸症状の緩和に関する研究

- ・悪心嘔吐、呼吸困難、抑うつなど、がん治療は痛み以外に様々な症状に出現する。これらの機序の解明と症状緩和について、基礎的および臨床的に検討する。

(エ) がんおよび症状治療に伴う苦痛の軽減に関する研究

- ・がん治療および症状緩和を行うための手技（抗がん薬投与、カテーテル留置など）の安全性向上と苦痛の軽減を目的として、それらの評価方法および新たな技術の開発を行う。

(オ) 緩和医療医の育成と適切な地域医療への配置に関する研究

- ・適切に緩和医療を行うことができる医療人の育成も担い、その効果的な教育方法と地域医療への展開について研究する。

11 決算・予算

(1) 平成29年度決算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	決算額	科目	決算額
<u>運営費交付金</u>	<u>6,761,601</u>	<u>業務費</u>	<u>31,436,071</u>
運営費交付金	6,761,601	教育研究経費	960,009
		医薬材料費	9,578,091
<u>学生納付金</u>	<u>808,033</u>	診療経費	2,790,098
学生納付金	808,033	管理経費	4,193,788
		人件費	13,914,085
<u>附属病院収入</u>	<u>24,348,954</u>	<u>財務費用</u>	<u>524,976</u>
診療収入	24,348,954	長期借入金償還費	524,976
<u>雑収入</u>	<u>616,997</u>		
負担金及び補助金	190,194	<u>受託経費</u>	<u>571,248</u>
科学技術研究費等間接経費	164,803	受託経費	571,248
その他雑収入	262,000		
<u>受託収入</u>	<u>954,522</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>733,178</u>
受託収入	954,522	寄附金事業費	733,178
<u>寄附金収入</u>	<u>1,798,687</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,972,837</u>
寄附金	1,798,687	施設整備費	1,093,552
		機器整備費	879,285
<u>道費補助金</u>	<u>1,093,552</u>	<u>目的積立金活用事業費</u>	<u>0</u>
施設整備費補助金	1,093,552	目的積立金活用事業費	0
<u>道費借入金</u>	<u>879,285</u>		
医療機器整備費借入金	879,285		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>0</u>		
目的積立金取崩収入	0		
計	37,261,631	計	35,238,310

(2) 平成30年度予算

(単位:千円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
<u>運営費交付金</u>	<u>7,088,000</u>	<u>業務費</u>	<u>32,817,296</u>
運営費交付金	7,088,000	教育研究経費	1,019,318
		医薬材料費	9,883,543
<u>学生納付金</u>	<u>817,425</u>	診療経費	2,911,149
学生納付金	817,425	管理経費	4,534,605
		人件費	14,468,681
<u>附属病院収入</u>	<u>24,896,521</u>	<u>財務費用</u>	<u>524,193</u>
診療収入	24,896,521	長期借入金償還費	524,193
<u>雑収入</u>	<u>539,543</u>		
負担金及び補助金	151,140	<u>受託経費</u>	<u>288,382</u>
科学技術研究費等間接経費	126,282	受託経費	288,382
その他雑収入	262,121		
<u>受託収入</u>	<u>288,382</u>	<u>寄附金事業費</u>	<u>698,118</u>
受託収入	288,382	寄附金事業費	698,118
<u>寄附金収入</u>	<u>698,118</u>	<u>施設等整備費</u>	<u>1,287,707</u>
寄附金	698,118	施設整備費	714,264
		機器整備費	573,443
<u>道費補助金</u>	<u>714,264</u>	<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>670,851</u>
施設整備費補助金	714,264	目的積立金取崩収入	670,851
<u>道費借入金</u>	<u>573,443</u>		
医療機器整備費借入金	573,443		
<u>目的積立金取崩収入</u>	<u>670,851</u>		
目的積立金取崩収入	670,851		
計	36,286,547	計	36,286,547

12 校舎等建物面積

(平成30年10月1日現在)
(単位：㎡)

建物別 用途別		計	大 学 校 舎							助産学専攻 科棟
			東 棟	本 部 棟	保健医療学 研究棟	臨床教育 研究棟	基礎医学 研究棟	教育研究棟 I	更衣室	
校	講義室・演習室	12,563	680	358	1,850	252		2,795		6,628
	実験室・実習室	6,849	224		2,015	79	286	4,245		
	研究室	3,848	352		2,262	63	509	662		
	講座関係	10,768	463	27	129	6,301	3,848			
	標本館	370					370			
	図書館	4,230					4,230			
	附属研究所	1,441						1,441		
	動物実験施設部	1,360	1,065	295						
	講堂	490				490				
舎	管理関係その他	39,204	5,154	1,245	4,778	7,605	11,311	8,936	175	
	計	81,123	7,938	1,925	11,034	14,790	20,554	18,079	175	6,628

建物別 用途別		計	附 属 病 院				屋内体育 館 リハビリ 教育実習 棟	グラウンド 附属 建物	学生寮	保育所	国際医学 交流セン ター	交 流 会 館	ファミリ ーハウス	記 念 ホ ール	細胞プ ロセッ シング 施設	旧看護 師宿舎	その他
			中央診療 病棟	外 科 診療 棟	来 院 棟	西 病 棟											
病 属	附 属 病 院	29,089	22,253	2,382	4,454												
	外 来 関 係	9,079	901	7,731	447												
	中 央 部 門	12,865	10,257	1,116	1,492												
	管理関係その他	27,783	17,631	3,096	7,056												
院 小	小 計	78,816	51,042	14,325	13,449												
	体 育 施 設 リハビリ実習施設	3,415				3,253	162										
学 生 寮	学 生 寮	1,190						1,190									
	保 育 施 設	747							747								
国 際 医 学 交 流 セ ン タ ー	国 際 医 学 交 流 センター	618								618							
	交 流 会 館	1,907									1,907						
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	553										553					
	記 念 ホ ール	733											733				
そ の 他	細胞プロセッシング施設	364													364		
	そ の 他	3,104														2,847	257
計		91,447	51,042	14,325	13,449	3,253	162	1,190	747	618	1,907	553	733	364	2,847	257	

総 計 172,570

平成30年度 札幌医科大学要覧

平成30年10月発行

編集 北海道公立大学法人札幌医科大学
事務局経営企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 内線21640

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp/>
